



ライオンズクラブ国際協会 331-A 地区

2012.6
No. 500
記念増刊号

<http://www.lc331-a.jp>



イラスト:L藤原 守(札幌東LC)

あした

[エコー誌]
ECHO★

～明日へ～



ガバナーズローガン

「英知の奉仕と組織の活性化」

- 「元ガバナーが語る」私にとってのライオンズクラブ
- 500号という節目にあたり、各クラブ員からのメッセージ
- ゾーン・チェアパーソン座談会

【目次】 contents

■ 地区ガバナー挨拶

331 - A 地区ガバナー	L 庵原 宏章	001
----------------	---------	-----

■ 「元ガバナーが語る」 私にとってのライオンズクラブ

1991 ~ 1992 年度地区ガバナー	L 春野 守夫	002
2001 ~ 2002 年度地区ガバナー	L 竹内 武司	002
2005 ~ 2006 年度地区ガバナー	L 桶谷 賢知	003
2006 ~ 2007 年度地区ガバナー	L 秋庭 一富	003
2008 ~ 2009 年度地区ガバナー	L 宮脇 寛海	004
2009 ~ 2010 年度地区ガバナー	L 伊藤 信賢	005

■ 500号という節目にあたり、各クラブ員からのメッセージ

札幌ライオンズクラブ	L 三浦 旭	006	札幌西ライオンズクラブ	L 福田 弘	016
札幌しらかばライオンズクラブ	L 遠藤多喜子	006	札幌新星ライオンズクラブ	L 原 孝男	017
札幌白石ライオンズクラブ	L 酒井 富雄	007	岩見沢ライオンズクラブ	L 伊藤 益栄	017
札幌創成ライオンズクラブ	L 安江 眞	007	美唄ライオンズクラブ	L 安藤 淳	018
サッポロシニアライオンズクラブ	L 森 一男	008	月形ライオンズクラブ	L 神田 勝行	018
札幌コスミックシニアライオンズクラブ	L 石川 節子	008	岩見沢中央ライオンズクラブ	L 溝口 裕信	019
札幌中央ライオンズクラブ	L 藤沢 教彰	009	南幌ライオンズクラブ	L 石井 真生	019
札幌フロンティアライオンズクラブ	L 安部 成志	009	由仁ライオンズクラブ	L 柳澤 守	019
札幌清田ライオンズクラブ	L 彦素 幸夫	009	滝川ライオンズクラブ	L 中島 康文	020
札幌中島ライオンズクラブ	L 小玉 享幸	010	江部乙ライオンズクラブ	L 豊島 貞雄	020
札幌エルムライオンズクラブ	L 室井 孝仁	010	滝川中央ライオンズクラブ	L 齊藤 稔	021
札幌もいわライオンズクラブ	L 丸尾 正美	011	砂川ライオンズクラブ	L 押尾 良悦	022
札幌まるやまライオンズクラブ	L 今村 徳吉	011	そらちライオンズクラブ	L 川端 克利	023
札幌大通ライオンズクラブ	L 鈴木 貞司	012	滝川グリーンライオンズクラブ	L 南 博雅	023
札幌南ライオンズクラブ	L 片山 賢	012	沼田ライオンズクラブ	L 山田 英次	023
札幌北の杜ライオンズクラブ	L 安孫子信義	013	当別ライオンズクラブ	L 安藤 英司	024
札幌バイオニアライオンズクラブ	L 高橋 和央	013	江別グリーンライオンズクラブ	L 大江 哲生	024
札幌グリーンライオンズクラブ	L 山本 弘詔	014	千歳ライオンズクラブ	L 敦賀 秀生	025
札幌スノートピアライオンズクラブ	L 月居 吉彦	015	恵庭ライオンズクラブ	L 島田 道朗	025
札幌東ライオンズクラブ	L 山本 晋	015	千歳中央ライオンズクラブ	L 服部 賢二	026
札幌ライラックライオンズクラブ	L 柳田 浩道	016			

■ ゾーン・チェアパーソン座談会 — ライオンズ活動の現状と将来展望 — 027

■ エコー誌の思い出

札幌ポブラライオンズクラブ	L 比企泰一郎	030
---------------	---------	-----

地区ガバナー挨拶

331 A地区ガバナー
L 庵原 宏章
(札幌東ライオンズクラブ)



500号記念誌に寄せて(会員数について)

記念すべきエコー誌の500号の発行年度現ガバナーでありますL庵原です。エコー誌500号が本年3月に発行されました。

その事を記念して急遽PR委員会の御協力により500号臨時増刊号を発行する事となりました。

昔と比べれば今から42年近く前に発行されたエコー誌と現在のエコー誌の記載内容に大きな変化が見られます。

その一つは昔は白黒版で鉄筆に依る一字一句の印字に対する思いやりが込められたエコー誌であり、その内容はライオンズクラブの活動に対する強烈な理念・理想とそのアクトに対する情熱がほとばしる記事が多かった様に思います。

現在はその内容もカラー版であり、ITの駆使に依る現代風に記事内容も変化に富んでおり、又多様化している様に見受けられます。

正に42年の歴史の移り変わりがエコー誌を通じて違いを肌で感じ取る事が出来ます。この様な記念すべき時に私がガバナーとして「英知の奉仕と組織の活性化」を掲げ、その中で最も気にしなければならぬ事項は会員数の問題が一番であった二年間でもありました。

日本ライオンズクラブは1952年にフィリピンマニラLCのエクステンションに依り日本で初めてのクラブ、東京LCが結成されました。

その年度はクラブの結成が他に一つあり、会員数が92名という所から日本ライオンズクラブの歴史が始まった次第です。

その後、数十年を得ながら1992年度にはクラブ数3,081、会員数167,960名という今迄最高の会員数を記録しました。

ちなみに1951年度から2011年度迄のクラブアクティビティ総金額は2,971億円に達しています。この様に日本のライオンズクラブは会員数の増加と共に社会奉仕という当初日本にはなじまなかった活動が年数を経るごとに日本風土に芽生え現在に至っています。

会員数の増加と共に種々のアクトに工夫がこらされ、地域社会との密着融合が図られてきま

した。そして、創始者Lメルビンジョーンズ二人の奉仕が次々と世界の大人数を輪に広められ、今現在は世界の206ヶ国にクラブ数46,135クラブ、会員数1,347,278名と世界一の奉仕団体に成長した事に力強さが感じられます。

これからも会員数の増加は世界ライオンズクラブが共有する永遠の命題としつつ、今日日本、東南アジア、世界の恵まれない子供を中心に社会奉仕の輪を更に広げていけたらという思いです。

時代は変わっても社会奉仕の原点は脈々と永遠に続くことを願い、恵まれない人々が一人でも二人でも少ない世の中に成って欲しいと思う次第です。

また、この機会に皆様を知ってほしいことは、まず第一にライオンズ活動の原点である「ライオンズ道徳綱領」を良く理解して欲しいということです。その下に国際会則、クラブ会則が機能しております。常にこの基本にそって行動することが、今後のライオンズクラブ活動にとって重要だと思えます。

終わりに大変御苦労されました先人達のライオンズ活動が今日に続いている事に対し深く敬意を表し感謝を申し上げます。エコー誌が500号の発刊を記念し、又末永く号数を重ねる事を期待しまして終わりとします。

「元ガバナーが語る」私にとってのライオンズクラブ



1991～1992年度
地区ガバナー

L 春野 守夫

「ガバナー時代の思い出」

今後の課題と展望について

私のガバナー就任時は1991年7月で、丁度日本経済がバブルの頂点だったような気がします。

会員数も4,000名を突破、日本レベルでは16万人弱と、そんな時代背景時に任期を全う出来た事は幸せの一語に尽きます。

毎年、ガバナーより元ガバナーは地区名誉顧問を拜命し、顧問会議では元ガバナーより「過去の在り様を参考にして下さい」

そんな理屈抜きの話し合いがあり、新ガバナーからは、謙虚な姿勢で「私のキャビネットを先輩として温かい言葉をかけて頂ければ幸いです」

と順次受け継がれ、御苦労と励ましのエールを送ったそんな会議でした。

私のガバナー当時、厚田ライオンズクラブが会員減少により解散したいと連絡が入り、331-A地区の名誉にかけてもキャビネット役員が「好きですライオンズ、夢と誇りと希望に燃えて」をスローガンに丸となって立て直しに奔走し、結果的に会員

が6名から22名まで増加し存続しました。

今になってみますと、苦しきよりも当時のテーマでありました「ザ・きずな」を大切に一期一会の精神で燃えに燃えた、充実した一時でありました。

而し、25年経過しますと社会構造の変革により、何がベターなのか過去は参考にせず、ライオンズ必携がバイブルとなり、それだけに、変革し進化した事は事実のようです。

会員の先頭に立っている者として必携は勿論であります。ライオンズに寄せる姿勢に問題は無いが常に考える必要があります。

今ガバナーを始め、キャビネットの皆様が与えられた使命を胸に懸命に努力されている事に敬意と感謝を申し上げます。

いつの時代も明日に希望をもち、ライオンズ即ち「無償の奉仕」を旗印に国際協会はまもなく100年を迎えます。

今後も右手には「我々は奉仕する」左手にはあらゆる会員の為に「絆」を強め、ライオンズクラブは永遠である事を確認し、ボランティアの根本精神であります。

「自利とは利他を言う」自分の幸せの前に相手の身になってより好いくらしが出来るかを考え実践し、その事がいづれ自分の幸となる一を胸に、皆で共に前に進むものではありませんか!!



2001～2002年度
地区ガバナー

L 竹内 武司

「地区ガバナー時代の思い出」

思い起こしますと、今から10年前第四十七回地区年次大会において地区ガバナーエレクトに選出され、同年七月アメリカ・インディアナポリスの世界大会で国際会長Lフランク・ムーアより331-A地区の地区ガバナーに任命されたときの情景が目には浮かびます。

又、ガバナーエレクトセミナーでYE活動とは別に「国際交流を通じて青少年の健全育成」を図ると公言し帰国後、韓国354-C地区との交流を地区青少年委員会に計画を練るよう指示し、素案が出来た段階で能澤地区幹事、荒木、岡崎正副少年委員長と韓国に行き予てから電話等々で話を進めていた354-C地区ガバナー金興柱(キムフンジユ)と、そのスタッフと面談(金興柱ガバナーとはインディアナポリスで行われた韓国レセプションで私と能澤幹事は会っている)

私共の事業計画案が理解され、韓

国LC354-C地区と日本LC、331-A地区との青少年国際交流事業の調印式を札幌市で行う事を確約し帰国しましたが、当時は韓国との間に靖国神社参拝問題や教科書問題があり、一抹の不安があったのは事実です。

又、地区内ではRC、ZCにかかる負担は重く、特にZC、Z委員の皆さんには各クラブに対して事業の説明や応募作文の選考方法の指導、送迎体制の確立に奮闘いただき、又、チームリーダーとして小学生十名を引率し健康に対する気配りまで獅子奮迅のご活躍をしていただきました。

日本からの子供達136名を韓国へ、韓国の子供達88名が日本へ参りましてホームステイを含む生活体験を行って交流を深めることが出来ました。

これからのグローバルな交流の時代に子供達に国際的な体験の機会を与える事が出来た事は大きな意義があったものと現在も思っております。

2001～2002年度竹内キャビネット構成員の皆さんとA地区全会員の皆様に改めて心から感謝申し上げます。

合掌



2005～2006年度
地区ガバナー

┌ 桶谷 賢知

「手塩にかけて」
親子が子を慈しむように、諸先輩が手塩にかけて育んだエコ誌は、いま500号まで数えるまでに成長しました。

古い本誌を繙くと、一言一句に蘊蓄を傾けた情熱が伝わってきます。地区運営も、時日を重ねて貴重な記録が集積され、エコ誌は卒業記念アルバムのような役割を果たしてくれるものです。

20数年前の地区幹事の座談会の記事が目にとまりました。ある先輩が、折角育てたガバナーが夭折したことが残念、と一言述べております。いみじくも、クラブが人材を育てたことに、自信を持って言い当てた至言でした。

わたくしもみんなに育てられた一人ですが、ややもするとLの世界では、己の才量や仁徳が専行しがちなものです。その様子を機関紙は、片言隻句で伝えるものです。ところが

昔と今を比べると、段々と文字の表現が少なくなつて、言語が写真に置き替えられている。

ペンを駆使せずに、シャッターを押して済ますことが多くなつてきました。見落とせない示唆を含んだ論調は、会合の様相や集合写真では表現を尽せない。ことばをはっきり文字にして主張することを要します。それがPRの本旨ではないでしょうか。

エコ誌に限らず地区運営の全般についても、時流の省力化を唱えながら、ガバナーの個人的な見解で素略、短絡、手抜きに走つてはいないだろうか。わたくしのときもそうであつたが、たとえばエコ誌にメンバーの企業広告、クラブ三役の年賀広告で集金して価値があるか。PR活動も財務運用でも、身近なところで見直しが迫られるところです。

人は貧すれば鈍する。Lの世界でも心貧しければ採め事あり。財政の難局に額に汗して知恵を絞り、躍動するエコ誌にじっくり眼を据えたいと願つております。



2006～2007年度
地区ガバナー

┌ 秋庭 一富

「地区ガバナー時代の想い出と反省」

私がガバナーを拝命したのは2006年～2007年で、既に5年経過しました。

当時は体力的にもエネルギーが旺盛で意欲満々の時代であつたかと思えます。

しかし当時でもライオンズクラブの将来に対して憂いを感じていたと思います。

それは、ライオンズクラブにとつて最も重要である、メンバーの入会問題であり、これが今後、益々減少していくであろうとの心配であります。何故なら人員増に対する活動方針、指導が間違つてきているからです。

ただ無理矢理メンバーを入会させる。これではライオンズに対するステータスは完全に無くなつてしまう。自分に対する誇りも無くなつていく。

これを一番に心配していたわけで

すが、5年経過した今もやはり同じ、今後も変わらないだろうと思えます。

さらに私達の考えるグッドスタンディングは変わつてきており、その心も失いかけております。

それはライオンズクラブの精神に反するものであり、人の道にも外れてきているということです。

正しい事、間違っている事、これを堂々とと言える人がなくなつてきている。

そして「けじめ」をつける「襟を正す」ことが非常に重要になつてきている事も充分知つてもらいたいのです。

これからも若い人が次々と入会してくるだろうと思えます。

そんな人達が純粋な気持ちでライオンズに沿つたライオンライフを堂々と送つて頂ける環境になつてくれることを期待したいと思えます。



2008～2009年度
地区ガバナー

L宮脇 寛海

「最近読んだおもしろい本」

原子力発電所(原発)が日本全国に50基あるのがすべて停止してしまった。

原発は日本の電力エネルギーの30%をにっていたが、現在この夏の電力不足をどうのりきるか各電力会社が節電をよびかけている。

電気器具はあれもだめこれもだめと、うっとうしい。

原因は去年の3・11東京電力の原発事故、水素爆発、メルトダウンであり、その周辺が広範囲に立ち入り禁止となりこれから長期間回復不能となっている。

原発に対する恐怖心、拒絶反応も強い。代替りの発電で何とかやっていかなければならない。

太陽光発電、風力発電もお天気まかせ、高コストでたよりない。

石油、石炭の火力発電も炭酸ガス発生、地球温暖化が心配である。

それを何とかしましょうと云う

のがこの本「原発安全革命」古川和男 文春新書である。

本屋でみつけて買ってきて、読んでおどろいた。読みおわたあと、こんなにもうまい話があるのかと疑ったが、くりかえし読んでも説得力のある話である。

この本は現行の原発の致命的欠陥を列挙している。原発の燃料ウランは被覆管におおわれた燃料棒になつていて、高温高圧下の水中できびしい条件にさらされている。

災害により冷却系が故障したらただちに燃料棒がとけて水は放射線で分解されて水素と酸素を発生して水素爆発することは皆様、何回もテレビで御覧になった通りで、これは石炭をたくボイラーの中で核燃料棒ウランをもやして水蒸気を発生させる原理であります。

災害に対して絶対安全とするには莫大なコストがかかり、でてくる廃棄物プルトニウムも危険な物質であり兵器、原爆にもなりうる問題があります。

これらをすべて解決するために核燃料を液体化することにより炉の構造がシンプルになり保守点検も容易になり、核分裂反応の制御コント

ロールが確実になる、炉の暴走もなくなる。

もし暴走するような緊急時には核燃料液を炉の下部から地下の冷却水プール内のタンクに落とすと連鎖反応は自然にストップする。

炉の中で連鎖反応が起こるのは中性子を減速させる黒鉛があるからであり、燃料のまわりに黒鉛がなくなり中性子が減速されないと臨界がおこらないのである。

この原発炉を著者はトリウム熔融塩炉とよんでいる。

トリウムは元素の周期表にのっている90Thでウランニウム92U、プルトニウム94Puの兄弟みたいな元素である。

現行の核燃料ウランニウムは核分裂によりエネルギーを出す但同时にプルトニウムも生まれる。

これが核爆弾の材料となるきわめて危険な放射性物質である。

トリウムを燃料とすればプルトニウムも生まれえない、かつトリウム熔融塩炉内ではプルトニウムも有効にもやせる。

プルトニウムの消滅にも一役かえると云うのである。

トリウムの埋蔵量は世界中にあ

ると云う事で良い事づくめである。この安全な原子炉の原理は1960年、70年代アメリカ、オーストラリア国立研究所で研究され、実証運転をされたが、当時の国際情勢から核兵器の材料を生産できない炉であったために採用されなかった。

時代とともに忘れられたが最近またみなおされつつあるのでこのアイデアがどうなるか注目しているところである。



2009～2010年度
地区ガバナー

L 伊藤 信賢

「ガバナー時代の思い出」

ライオンズクラブの目的は、我々は奉仕すると言う精神のもと社会に貢献することであるが、近時の価値観の多様化にともないボランティア活動の在り方も多様化してきてその中でライオンズクラブそのものの存在意義が問われていると言っても過言ではありません。近時のクラブ会員の減少傾向は、社会全体のボランティアの意識が低調になってきたのではなく昨年3月の大震災の時に見られるとおりボランティア活動はますますその重要性が認識され日本国民の老若男女すべてが奉仕の精神が行きわたっている様子がわかり、社会奉仕は必ずしもライオンズクラブだけの専売特許でないことが浮き彫りにされてきました。奉仕の概念の多様化しているということであれば、如何に外にないライオンズクラブとしての特色を生かすことができるのかを考えなければ

ば今後の発展は望めません。私が地区ガバナーを務めたのは2009年～2010年であるが、時期的には前年のリーマンショックによる100年に一度の大不況が起り日本も少なからずその波を受けることになり、また当時食肉偽装の問題や振り込め詐欺等の問題が多発していた社会情勢は混沌としていた状況にあった。私はこれを捉えて人間の際限のない欲望を社会発展の原動力であるとしてこれを野放しにしていた結果であるとし、その閉塞状態にあった現状を打破する根本的対策としては奉仕の精神の重要さを説きその精神の高揚と実践を図るため、そのガバナースローガンを「奉仕の心が未来を開く」としたのでした。それに心が宿るシンボルとしての心臓をモチーフにしたガバナーバッジを採用したのである。ガバナーバッジの作成は、我が幹事、会計そして事務局長の力作で評判が良かったと見えて合計1000個ほど作られました。ガバナーにとつてガバナースローガンはガバナー方針を決める上でそれが集約されたものとして重要ですが、一見平凡ながらこれだけは一番苦労

した記憶があります。そしてこれに国際会長のmove to growを「行動なくして発展なし」と解釈し、これを原動力として私のスローガンを推し進めることで準備万端と言うところでした。後は頼りになるスタッフにお任せし、あつという間に1年が過ぎました。さて当初の思惑通り成果が上つたでしょうか。上がったと信じておりますが。スローガンは抽象的に唱えられましたが、個々の行動がどのように実行され効果が上つたのか検証してみるとは難しいところでしょう。本当に具体的な成果が上つたかと言えば手ごたえは今一つと言うところかと思えますが、とにかくキャビネット役員に大変お世話になったことは間違ありません。何とかガバナーとしての役割を果たせたのはスタッフ全員の協力があったこと感謝の言葉につきます。今でもその気持ちは変わりません。



500号という節目にあたり、 各クラブ員からのメッセージ



札幌ライオンズクラブ

L 三浦 旭

「しつけと教育の現状を憂う」

今年で7回目の年男を迎えた、八十路半ばの老ライオンの繰り言と聞き流して頂きたい。

今の若い者たちのすることが、いちいち気になる。看過できない。時に腹が立つ。

何かがずれている。間違っている。正さなければいけないと思う。

齟齬の源は戦後の教育にある。われわれ年代の多くの人がそう思っている。

敗戦で、日本はアメリカの教育制度を押しつけられ、日本古来の教育哲学が骨抜きにされた。

あの同じ敗戦国のドイツが、断固として自国の制度の改訂を拒んだのだとは実に大きな違いである。

更に戦後の開放を履き違えて、教師を教育労働者化した組合指導者が、戦後の教育の流れを誤った方向

に導いたと言っても過言ではない。

外国を旅行してみても感ずることは、何時も国旗が街なかのあちこちに誇らしげにはためいているのは、何故だろう。

翻つて日本の街角からは、日の丸は影を潜めてしまったように思える。

然るべき式場で、国歌を歌わない教師もいるという。一体、日本人の国家意識はどうなつてしまったのか。

戦後の日本の人口動態の変遷が、急激な核家族化と少子化を招来し、家族の団欒を崩壊して家庭の秩序を乱したものと考えられる。

社会には、人々がそれによつて善悪・正邪を判断し、正しく行動するための規範がある。それが道徳である。

しつけは家庭の責任、教育は学校の役割りである。子供は親の背中を見て育つと言われるが、その家庭のしつけが怪しくなつてしまった。そして現在の学校教育の在り方も懸念される。

しつけとは、規則正しい生活と礼儀作法という社会の作法を身につけ

させることを意味する。一字では躑、身偏に美と書く数少ない国字である。

昔は、修身という教科のみならず、その他の教科や、唱歌、カルタ、双六といった遊びにまで、社会の教えが読みこまれていたものだ。

さて、昔の教育だけを良しとする訳ではないが、今われわれに出来ること、やらねばならぬことは、真なるもの、正しきことのために、勇気をもつて言つたり、行動したりすることではないだろうか。

.....

主なライオン歴
1999年、クラブ会長



札幌しらかばライオンズクラブ

L 遠藤多喜子

「魅力と意義を伝える」

私が、ライオンズクラブに入会して一年が過ぎました。本来であれば何も解らない新人がこのような機会をいただけるものではありませんが、みなさんが勧めて下さったので瑣末ながら思うところを述べたいと思います。

今回に限らず、札幌しらかばライオンズクラブでは若い会員や新しい

会員に様々な機会を与えてくれます。国内外を問わず様々なアクティビティのどれでも参加させてもらえ、CN三十周年記念行事でも大きな役割を与えて下さいました。会の運営にあたって積極的に意見を聞いていただき、多くのアドバイスを下さいます。アクティビティ以外でも、豊富な経験談や人生訓を惜しみなく聞かせてくれ、後進の言葉にもよく耳を傾けて下さいます。

入会以前は、もつと物々しい活動を行っていたのかと考えていましたが、とても人間味のある方々が社会に貢献するために尽力されているのだということがよく解りました。

このようなライオンズクラブが、近年会員減少の憂き目を見ているのは非常に残念でなりません。青年層の社会認識が変わつてしまったと嘆く向きもありますが、私はそうとばかりは思いません。

これからは、ライオンズクラブの精神を更に高めながら、新しい社会に必要なアクティビティと時代とともに変化していく組織を生みだし、発信していかなければならないのだと思います。

.....

主なライオン歴

2011年、副ライオンテーム



札幌白石ライオンズクラブ

L酒井 富雄

「昨日より今日は」

朝、目がさめ食事中に「今日は例会のある日だ」と思い一日のスケジュールを確認し仕事を終え例会会場へ・・・

そして「君が代・ライオンズの歌斉唱」を歌っている何分間の間国旗に向かって何と言う表現が正しいのかわかりませんが、緊張感と達成感が心の中からわいてくる様な気持ちになります。

私は今年で入会8年目を迎えます。その間ライオンテーマ・テールツイスター・二年理事・会計、そして2012年度7月より第二副会長を承認され緊張しているところであります。

2011年7月〜2012年6月は結成25周年を迎えました。素晴らしい事と思っております。

諸先輩の作つてこられた伝統を大切にしながら「前進しなければ」と思っています。

2013年度、2014年度とライオンズの勉強をしながら進んで行

きたいと思っております。

札幌白石ライオンズクラブは、3〜4年で若い会員さんが入会しております。

各会員さんが心ひとつにし、会員維持、拡大に努めているあかしかと思っております。

現在一名の女子会員がおり、何としても女子会員の入会を強く思っている所です。

一人一人会員の意識が強ければ「会員減の方向」には進まないと考えております。

「昨年までは」と形に余りとらわれず創意工夫しながらコミュニケーションを大切にしながら進んでいきたいと考えております。

「昨日より今日は」を大切に!!

主なライオン歴
テールツイスター、ライオンテーマを経て
2011年〜 クラブ会計



札幌創成ライオンズクラブ

L安江 眞

「クラブの由来・活動・未来」

当クラブは、親クラブむいねLCよりエクステンション早いもので昨年9月20日CN20周年を向かえることが出来ました。創成の由来は初代会長L金谷が南1条東2丁目生まれ育った経緯も有り札幌創成LCとして出発致しました。

創成川の歴史は1866年(慶応2年)に幕府箱根奉行所石狩役所の役人大友亀太郎が札幌村を開く際に開削した用水路、大友堀が前身です。亀太郎は1834年(天保5年)に、今の神奈川県小田原市の農家に生まれ、22歳の時二宮尊徳に弟子入りし、農業や開拓の仕方を学び、26歳の時幕府の役人として武士に成り蝦夷地の開拓に入り御手作場を石狩原野のサツホロと決め、伏古川のほとりから開拓を始めました。現在は創成川道アンダーパス連緑化事業によりすっかり整備され、創成川はいちちい変身を遂げ市民の憩いの場と成りました。

私たちは46名のスタートでした

が、社会の変化の対応につまづき現在は、20名を切るクラブ運営と成りました。しかし私たちはライオンズムの精神に則り最大可能な限り足跡を残すべき活動として、発足当初より毎年数十本の植樹に力を注いでまいりました。お陰で市内各所に1000本を越える植樹を継続しております。又、献血にも力を注いでおります。

私たちはライオンズクラブの一員としてガバナースローガン組織の活性化、経費の削減は元より、日本、北海道、札幌市民として何が出来、何が必要なのか、何が求められているか、社会の変化に対し、日本ライオンズクラブは世界に目配せしながら、しかし、来るべく逆三角形の人口動態、高齢化、人口減の日本の中で、青少年の健全育成(YE含む)、薬物乱用、交通安全、環境整備、まだまだわが郷土の為に汗を流すことはたくさん有ると思えます。これらに軸足を置くことにより社会は元より市民にもライオンズクラブの活動が身近に理解者を増やし会員増強に寄与できればと考える次第です。

主なライオン歴
クラブ会長 2回
ゾーン委員、ゾーンチエアパーソン



サッポロシニア
ライオンズクラブ

L 森 一 男

「薬物教室を全小・中学校で開催を」

「薬物を1回やろうと思っていた」
ある小学校の6年生2人が、薬物乱用防止教室を開いた後のアンケートに書きました。ショックでしたが、ここまで来たかと思いました。

タレントの酒井法子や押尾学が、薬物で逮捕されてから、子どもらの薬物への関心が異常なまでに高まっています。書いたのは、氷山の一角かも知れませんが、6年生2人は「森のおじさんの話を聞いて、薬物は止めます」と書いてくれました。

我がクラブは、この1年間に小学校4校、中学校2校、地域住民に1回と計7回薬物教室を開催しました。1人150円の資料代がかかりますが、150円で若者が薬物に汚染されなければ安い物だと思えます。そこで3つ提案します。

①薬物教室を1回も開催していないクラブがあります。多くのクラブが、青少年委員会でも対応していると思いますが、「薬物乱用防止委員会」を設置して本格的に取り組

んだらいかがでしょうか。

②薬物乱用防止教室は、331-A地域の全小・中学校で開くべきだと思います。札幌市内には、小学校が約200校、中学校が約100校あります。警察署や薬剤師も、薬物教室を開催しております。全校をカバーしなくてもすみます。ライオンズクエスト(LQ)事業は、全中学校のクラブ担当を決めた前例があります。

③薬物とLQを連動するのもベターです。我がクラブは、薬物教室を開催した学校にLQの参加を働き掛けています。LQに参加した学校に呼び掛け、薬物教室を開き成功しています。

アンケートを書いてくれた全生徒には、礼状を書いています。印象深くなるためです。各クラブの多様なアイデアが、明日を担う青少年の健全な育成につながると考えます。

.....
主なライオン歴
ゾーン・チエパソン
リジョン・チエパソン
地区ライオンズクエスト委員長



札幌コスミックシニア
ライオンズクラブ

L 石川 節子

「記念増刊号発行に向けて」

この度はエコー誌五〇〇号記念増刊号発行おめでとうございます。

今日に至るまでの数十年、地区PR活動に関わられた多くのライオンズに敬意を表します。その任を負った方々でなければ判らない沢山の苦労の上に、今日があるということ 생각합니다。

私などは結成九年目の小クラブ所属ですので、この企画に寄稿するには値しない存在です。ただせつかくライオンズの仲間になったのですから地区の皆様足を引く張るような存在にはなりたくないという思いで活動してまいりました。

東日本大震災以来はライオンズでよかつたという思いを強くしております。

国際協会・地区・クラブと色々なレベルでの活動参加が可能な点で、勝れた組織だと思えます。

昨今、経済事情の悪化もありメンバーの減少が続いております。組織が大きくなると、維持に大きな

エネルギーを要しますし、弊害も出てくるのは当然ですが時代に合致した運営に取組みたいものです。

ライオンズクラブには、ビルゲイツ財団とのコラボである「ライオンズはしかイニシアチブ」等、希望に満ちた取り組みが沢山あります。

過去の産物である権威主義を捨て、本当に必要なとされているアクティビティはなんなのか？相手側の立場で観る姿勢が大切と感ずります。

ライオン誌で世界・地区外の動きを知り、エコー誌で地区内の様子をすることはライオンズライフに欠くことは出来ません。

「ライオンズ」と声高くアピールしなくとも、地道な活動を続けていく事で多くの方より共感を得られれば展があると確信しております。

.....
主なライオン歴
2003年、クラブ会計
2005年、2010年、2011年、
クラブ幹事(3回)
2007年、クラブ会長



札幌中央ライオンズクラブ

L藤沢 教彰

【絆】

東北の震災から一年以上の年月が過ぎようとしております。

絆のもとに日本中の多くの皆様から東北の地に想いを寄せられております。

絆を考えて見ますと、すべての物は深いかわりの中に存在していると考えられます。

私がこの世に命をいただいたのも父母が結ばれた直接の原因(因)と先祖の間接の原因(縁)によってでありませぬ。両親、祖父母、その先代とさかのぼりますと、二人、四人、八人：：と三十代前は十億人の先祖の数になります。しかし従兄弟(イトコ)からの結婚が許される中で、過去に多くの近く、又遠い親族の結びつきにより現在に至っている事でありませぬ。

又、他人と言えども父母はじめ先祖の存在に大きい力を与えたが故に現在の先祖があり、私がある事を想いますと、私に関係のない人(物も含めて)は何一つ存在しない事になります。

す。このことが絆の深い意味をあらわしている事と思われませぬ。

札幌中央ライオンズクラブの奉仕活動も五十有余年の長きにわたって続けられております。

共に生かされている私達、これからも絆のもとに共に支え合う奉仕活動を先輩ライオンに続いて進めさせていただきます。

ウイ・サーブ

………

1998年、クラブ会長
2011年、クラブ会長



札幌フロンティアライオンズクラブ

L安部 成志

【得がたい友を】

30数年にわたる得難い友人を、道内各地のLの世界に持つことは、終生の財産です。

折角、縁があつて仲間入りし、力を合わせ、志を共にし、しっかりと考えたおかげで結ばれて、真面目にやってきましたおかげです。

確りしたライオンズとは、易しく言えば強く、正しく、和やかな集団づくりでしょう。

むずかしい理念や条理はさて置き、観

念に囚われずにクラブの枠を越えたお付き合いで、良き友を数多く持つことが出来ました。心掛けたとすれば、浄財とは言えないがポケットマネーを出し渋らずにACTの源資を枯らさない。きまりを枉げず歩調を乱さぬ。役位の競いは和を欠く。自分なりに、これだけは実行してきたつもりです。

親、子、孫ほどの年齢差があるL社会では、歳月を重ねることで必ず進退は付いて回ります。カマドの都合や健康の心配も生じます。

そのとき真面目に理解し合うのが友愛であり寛容ではないでしょうか。ところがややもすると便法に走りがちです。気候に市民権を得る手段では世は乱れる因になります。

親亀転げれば皆転げる、家族会員、みんなで渡る赤信号的な会則濫用、本業不如意でラペルピンを外せぬ日和見、喧嘩沙汰の人事抗争など。戒めなければ友を失う事例を見逃してはならないことです。

友なくばLの存在なし。昔も今も、これが本当のライオンズの姿ではないでしょうか。

………

主なライオン歴
1985年、クラブ会長
1987年、地区年次大会委員長
1993年、地区政策委員長



札幌清田ライオンズクラブ

L彦素 幸夫

【明日に向かって】

清田LCは1985年の結成より27周年を迎えました。結成以来の基本理念を「地域に密着した奉仕」と掲げ、清田区を主体として活動しています。

活動の基盤である会員数も、現在66名と順調に推移しています。

現在の継続中の活動としては、地区内の各種団体への助成があるが、とりわけ結成20周年記念事業として清田小学校に寄贈した水田、「ゆめ田んぼ・あしりべつ」による田植えから収穫、そして食に供するまでの一貫した実践事業を行っています。

また、地域への関わりとしては清田区の誕生以来「清田ふれあい区民まつり」に積極的に参加し、学生コンサートを主催していることのみならず運営各部署において、クラブ会員が中核となつて活動しています。

また、環境保全については結成以来地域の川「あしりべつ河畔」などに各種植樹を行い現存する樹木は558本に達しています。そのほか、

交通安全啓発運動・献血事業・薬害防止セミナー・YEによる国際交流等々があります。

そのような多岐にわたる活動の中、今後の検討事項としては、ある継続事業では限られた会員（専門指導者）に活動が偏っていることや、会員の高齢化や、年齢格差による考え方の違い、あるいは所期の目的と現在の意識とのかい離が進んでいないだろうかとか、他方では地域の要望が多様化していることから、本当に必要な事業か否かを常に念頭に置き、各種事業の検証と改善を図っていくことがますます重要になっていきます。

これらのことも理解しているがなかなか難しく何か情性に流されているようなことも見受けられます。これらのことを良い方に導く為には、会員一人一人がより広い見識や見聞を広めその中から、地域とクラブの更なる可能性を発見する努力も必要となつてきています。

.....

主なライオン歴
1999年〜 クラブ会長
2005年〜

地区会員・エクステンション委員長



札幌中島ライオンズクラブ

小玉 享幸

「会員の増強なくして発展なし」

「エコー」誌発行500号、心よりお祝い申し上げます。歴代のPR情報委員長の皆様のご苦勞に、謹んで敬意と感謝を捧げたいと思います。

振り返れば、わが国にライオンズクラブが誕生して、今年で60年の記念すべき年を迎えました。この間LCの活動は着実に続いて参りましたが、バブル崩壊を機として、残念ながら会員は減少の一途を辿り、現在に至っております。また、一時期、エクステンションによりクラブ数を増やすことに力を注いだため、会員が20人から30人程度のミニクラブが相次ぎ誕生し、このことがLC全体の衰退を招く一因にもなりました。最近ではクラブの解散や会員の高齢化によるクラブの合併が相次いでいる現状にあります。こうした事態に有効な手段をとり得なかつたこれまでのリーダーに、私を含めて大きな責任があるのではないのでしょうか。

こうした反省の上で、何よりも会員を増強することが、LCの未来を

築いていくことを確認して、原点に立ち戻り、より地道な活動を展開していかなければなりません。

私どものクラブは、ウイサーブの理念の下に、少年野球、少年サッカー等のスポーツを通じた青少年育成アクティビティの他、未来を担う子供達のために学習用品等に必要なる支援、青少年の健全な育成を継続的にサポートしながら、クラブ運営をあくまで地道に継続したいと考えております。

会員増強なくしてクラブの存続はありません。今後若いメンバーが増えることで、自分をどのように高めていけばよいのか、また、クラブの伝統、歴史をどのように伝えていけばよいのか、難しい課題は数多くありますが、新しいアイデア・行動力を取り入れながら、あくまでも地道に一步一歩前進して参る所存であります。

.....

主なライオン歴
2009年〜 クラブ幹事
2010年〜 クラブ第1副会長
2011年〜 クラブ会長



札幌エルムライオンズクラブ

室井 孝仁

「ライオンズクラブに
入ってみなければ解らない事」

近間現会長のスポンサーで入会3年目の私では、問題点や将来展望を語るには、大いに役不足を感じます。従つて、新入会員（私）が何を感じたか？を、問題提起と致します。

私の率直な感想は、「ライオンズの存在は知つていても、部外者にはその活動内容が（ほとんど）知られていないのでは？」と思え、入会しなければその魅力が解らないのは（仕方が無いことではあるけど）勿体ないと思える事です。同時に、自分の貴重な素晴らしい体験を分かち合う為、友人を新入会員に勧誘する事の難しさを痛感しています。

（人道的な見地）とか（崇高な理念）を振りかぶらずとも、誰しも人の役に立ちたい、善意だけの行動をしたい、そんな気持ちを持つています。ですが、（かつての私の様に）何時、何処で、何をすべきかを知らず、又、判断に迷っている人が多いのではないのでしょうか？

社会奉仕のあり方は様々ですが、ライオンズクラブへの参加が、その大事な回答の一つである事を、将来の仲間と言わなければならない努力が必要だと強く感じます。

クラブの会報誌やホームページを使い、興味を抱く人達に、奉仕を通しての感動を伝える事も大切な事と思えます。

説明の無い結論ですが、現在の私には「ライオンズクラブに入ってみなければ解らない感動があります」と結論するしかありません。

奉仕の輪に自分の体を置き、「実際に体を動かす仲間との一体感や達成感」、「クラブに入らなければ絶対にあり得ない、人との出会いや経験」が、何かしら自分自身の「新しい価値観の発見」に繋がっています。

地道な奉仕活動によって、感動を共有する仲間を増やす事、それが日本の将来を明るくする道だと信じます。

主なライオン歴
2011年〜 クラブPR・IT委員長



札幌もいわ
ライオンズクラブ

L丸尾 正美

「獅子奮迅するも
粉塵となることなかれ」

札幌市の円山動物園では子どもたちのために、1頭もいなくなってしまうゾウを新たに迎えようと検討しているそうです。サイやカバ、キリンなども購入するとかかなりの高額になるということですが、こと、ライオンについてはかなりだぶついていて、他の動物園でもなかなか引き取り手が無いとか。絶滅危惧種になりかけている人間ライオンとしてはなんともうらやましいという複雑な心境です。

奉仕団体というライオンズの本質と、月に2回の例会という原則を守ろうとすれば1つのクラブがクラブとして成り立ちうる規模は自ずと決まってくる。努力や創意工夫だけでは労力的にも資金的にも限界があることは否めません。そこで半ば冗談半ば本気で「合併でもするか」という話が出たりもしますが、「合併するとそれぞれのクラブの半数が辞めて結局元の規模のクラブが

1つ残るだけ」というまことしやかな話を、都市伝説と笑い飛ばせば時代は、エクステンション華やかに過去の事です。

結局、身の丈にあった出来ることから始めるという愚直な当たり前から再出発するしかないでしょう。各クラブにはそれぞれの歴史の積み重ねがあります。その中で守るべきものは何なのか、今一度我々は自問自答する必要があります。例えば5年毎の周年行事はどうでしょう。ライオンズ発祥の地では25年ごとが節目と聞いたことがあります。また、いい意味で「他人のふんどしで相撲を取る」広く一般の方からの出資・協力を得るためのバザー等もかの地ではもつと盛んに当たり前に行われています。一人日本のライオンだけが「武士は食わねど」と自己資金だけのアクティビティに固執することはありません。「伝統は守ったがクラブは潰れた」「クラブは守ったが自分の会社は潰れた」では、盛者必衰の言葉通り「ひとえに風の前の塵に同じ」です。

スパイクタイヤの撤廃により北海道の粉塵公害は解決しました。我々もライオンの牙と爪でやってきたクラブ運営をスタッドレスタイヤのよ

うな柔軟な発想で解決できるはずで
す。それが北国の知恵と誇りというもの
でしょう。さて、私も誇りをいや
埃をかぶった「ライオンズ必携」には
たきを掛けることとしますか。

.....

主なライオン歴
2005年〜 ライオンテーマ
2006年〜 2R1Z YEゾーン委員
2008年〜 クラブ会長



札幌まるやま
ライオンズクラブ

L今村 徳吉

「我がクラブの歴史と共に
栄光と感動で躍進の35年有難う」

私は、もいわLCの15人のトランス
ファーマンバーの方々と移籍して、早
や、いや、すでに35年、そして、もいわ
ライオンズクラブに、入会したのが
1975年であるから既に38年であ
る。

その間、幸運に、仕事にも、健康に
も恵まれ1980年の第4代目会
長を始として、多くの役職で、数限
りないライオンズ活動の、その感動
の場面を通じ、奉仕の真髄を体験さ
せていただき、歡びと楽しみを味わ
せて頂きました。

特に1984年の地区ゾーン・チ

エアパーソン当時にはバート・メイソン国際会長から、ゾーンの会員増強が最優秀であるとして金色燦然と輝く、アワードのメダルを頂いた快挙とその荣誉は、誇り得る大いなる喜びの一つでしょう。

時の流れで、私は今では只一人のトランスファーマンバーとなつてしまいましたが、私どものクラブは、「知的交流の場としてのライオンズ」を標榜し、知性豊かに格調高く発足をし、この間、立派な多くの会員が入会を頂き、「明るく」「愉しく」「つつましく」「堅実にその情熱溢れる行動力で、奉仕と友情の輪を広げ結成直後から、50有余名のメンバーを持続し大いなる躍進を遂げ、今年35周年を迎え、ともに喜びともに、誇りたいと存じます。栄光と感動で躍進の35年有難う、そしておめでとう。

-
- 主なライオン歴
- 1980年〜 クラブ会長
- 1984年〜
- 2R1Z ゾーン・チエアパーソン
- 1991年〜
- 2R リジヨンチエアパーソン



札幌大通ライオンズクラブ

L鈴木 貞司

「ライオンズの基本書」

1. 私のライオン歴は37年になります。比較的長い会員歴と評価される歳月を経たことになりま。この間に、私がライオンズクラブ在籍で得たものを、一口で言えば、多くの友を得たことと、「奉仕の精神」の涵養と言つても良いかもしれません。
2. 私が、他に参画している団体と全く異なることは、ライオンズクラブが国際的組織であることです。従つて、私たち一人一人が国際協会の一構成員であり、国内的には331-A地区という括りの中で活動するという一種の制約を受けていることを自覚していなければなりません。
3. 私の現況は、札幌大通LCの中にあって、古参会員の仲間入りをし、若い会員からエネルギーを分

け与えて頂くだけですが、その若手会員に対するアドバイスを求められるとすれば、「会報を読みましよう」という一言に尽きます。

4. 会報は、国際協会からのライオン誌日本語版、331-A地区キヤビネットからのエコ誌、そして、単位クラブの会報の3誌を指します。

ライオン誌は、国際協会長のメッセージ・地球規模のクラブの動向を、エコ誌は、331-A地区ガバナーの方針と地区内クラブの動向やACTの内容など、私たちが知りたいこと、例えば、ACTのあり方、会員減少対策など広範囲の情報が満載されているのですから、全ての会員がこの3誌を基本書として毎号必ず目を通して置くべきと思うのです。

5. このような想いから、私はこれまで基本書3誌を必ず目を通し、奉仕の精神を風化させないように努めてきましたし、これからも続けていきたいと考えております。

-
- 主なライオン歴
- アカシALC幹事、大通LC会長
- 地区大会ACT委員長
- 地区環境保全委員長



札幌南ライオンズクラブ

L片山 賢

「ライオンズクラブとの出会いで思うこと」

小生のライオン歴は、まだ14年程度で、ライオニズムを語る資格などはありませんが、年齢を超えたかたちでの、ライオン歴での先輩・後輩ライオンたちとの出会いは、何にも代えがたいものであると思つております。一般社会では、年齢は重要なお付き合いのものさしであり、ライオンズクラブでは、日本という国柄からも、当然長幼の序はありますが、年齢はもとより、ライオン歴での先輩・後輩すらも超えた友情が育める土壌があると感じております。

これは、日常の奉仕活動の中で、クラブメンバーの協力が欠かせないうえ、日頃は、職場でも家庭でも、準備・後片付けを指導することはあつても、自ら進んで実行する機会の少ないライオンでも、アクトともなれば、ともに汗を流さざるを得ないということから、同じ目標で汗をかきあつたあとの充足感でもあるかも知れません。加えて、家族ぐるみの集ま

りや、夫婦同僚例会などの活動によつて、ライオンやそのパートナーと一緒にいるときの仲間のライオンの人となりの意外な発見とともに、微笑ましいシーンに巡り会うことも多いからではないでしょうか。

このような活動の輪が世界と繋がっていることもまた、ライオンズの「絆」を思い起こさせてくれる所以なのでしょう。ライオン体験を世に広めたいという、素直な気持ちからライオンズクラブの発展と変革の原動力となるよう願うと同時に、まずは、わがクラブの活性化を目指し、その力が親クラブや子クラブへ、各地区から日本全国へ、ひいては全世界のライオンズクラブとの絆を結ぶことになればと念ずるばかりです。

主なライオン歴
1998年〜2006年6月迄
367D地区枕崎LC在籍
2006年〜
札幌南LC、PR委員長3期続任
2012年〜 クラブ幹事就任



札幌北の杜
ライオンズクラブ

L安孫子信義

「ハー誌500号 記念増刊号によせて」

各クラブの会員の皆様方におかれましては、日頃よりライオンズ活動にたずさわり、大変お疲れ様です。

このたびのエコー誌500号増刊は誠に意義深いものと思っております。事務局よりテーマを頂きましたので下記にまとめました。

1、ライオンズ活動の現状・問題点と課題

どのクラブも共通の話題は会員増強だと思えます。この問題は会員相互の強い意識が必要だと思えます。その為には強いリーダーシップのもと自由に見聞交換が出来る環境が不可欠だと思えます。

又、当クラブでの問題点は例会への出席率の低迷、アクティビティへの出席者の減。

今後の課題はいかに本来のライオンズ精神を習得・勉強・行動を会員一人一人が身につけることと、入会の際には丁寧にライオンズの内容を教える必要があると思えます。又入会

後の人間関係が一番問われることだと思えます。会員相互のサポートが必要。共同作業後の達成感を分かち合う。

2、ライオンズ活動の将来像

限られた予算の中で、奉仕活動を行うわけですから身の丈にあったアクティビティを会員全員で、知恵を出し合い行うべきだと思います。又、アクティビティの終了後に必ず反省・問題点の抽出を行い次回へのステップアップにする。

ライオンズ活動の認識はまだまだ一般社会には浸透されてはいないと思えます。この点は永遠のテーマかもしれません。この点は永遠のテーマかもしれません。PRを行うことだと思えます。

過去の形式にとらわれることなく、改革精神のもとシンプルな組織・行動計画が必要だと思えます。

当クラブは、ようやくCN5周年を迎えたところです。

私自身も短い経験のなかで、大きなこととは言えませんが今後の積み重ねの中で努力したいと思います。

主なライオン歴
クラブ幹事、クラブ会長
地区エクステンション委員長
キャビネット副会計



札幌バイオニア
ライオンズクラブ

L高橋 和央

「バイオニアスピリット」

およそ会社というものは、何も工夫しないで毎年同じことを繰り返していたら倒産するようにできているのではないかと思います。どんなヒット商品に恵まれても、発売と同時にそれは過去の商品となります。常に先を見て新たな工夫をしなければなりません。

このことは、ライオンズクラブも同じなのではないでしょうか。

札幌バイオニアライオンズクラブでは、ここ数年、若くてライオン歴の浅い会長をライオン歴の長い幹事がサポートして運営する体制が続いています。幹事を経験してから会長になるのではなく、逆に、会長経験者が幹事となつて会長をサポートしています。私も、入会してからわずか3年目にして会長を経験させていただきました。1人では何もできなかったと思えますが、経験豊富な幹事に支えて頂くことで、自分では思いつかなかった問題点を指摘いただき、その問題点を解決へと導いていただくこ

とが度々ありました。理事会や例会後の二次会でも、若手会員が自由に発言できる雰囲気があり、若手会員の提案に対して先輩方からなされる指摘も、若手会員の提案を実現するためにはどうすべきかという前向きな意見ばかりでした。当クラブにもライオンズ活動について高い見識を持つ先輩方が何人もいるにも関わらず、まだライオン歴の浅い私が本誌の原稿を書いているということ自体、札幌パイオニアライオンズクラブの特徴を表しています。

札幌パイオニアライオンズクラブでは、ライオン歴の浅い会員の新しい自由な発想、アイデアを、経験豊富な会員らがサポートして実現していくというシステムが自然にできているように思います。先輩方にサポートしていただいた御礼という意味でも、将来は、自分自身が若手会員をサポートできるようにならなければならぬという気持ちで、日々のライオンズ活動に取り組んでいます。

主なライオン歴

2011年、クラブ会長



札幌グリーンライオンズクラブ

山本 弘詔

「エコー誌500号記念増刊号」発行を祝して!!

この度は「エコー誌500号記念号」の発行に当り、誠にお目出とうございます。

先人からの意志を引き継ぎ、永々と各クラブ活動の現状の報告と活躍ぶりを明快に知らしめたる効用は各クラブは勿論、メンバー各位に対しLCの存在の意義を形象されたる貢献は多大なものが有ると存じます。

ここに記念すべき500号を発刊するに至りました事は誠に嬉しく、喜ばしい限りで有ります。

あく迄も通過点で有りますが、先輩方の御労苦に感謝すると共に、向後誇りを持つて更に継承されます事を懇願するもので有ります。

私事で恐縮で有りますが、小生入会したのは昭和55年の事でございまして。

時計台LCに4年間お世話になりましたのが皮切りで有りました。当時はバブルの最盛期在札のクラブも生めよ増やせよと言った時期で、5

年毎に各クラブがエクステンションをし、当時は未だに札25クラブ程でしたが、あつと言う間に30クラブを越し近年迄に40クラブにも達した訳で有ります。

一時期はススキノに石を投げたらライオンズメンバーに当たると言われたことも有った位で有ります。

日本にLCが当来したのが1952年と言われ、60年程になります。

日本も30年程前迄は国も福祉が行き届かず、経済発展に漕がれていた時代であった訳で有ります。

其の時期にライオンズの活動は「恵まれない子に愛の手を」と言った多方面に渡って奉仕活動が盛んに又、所有面に貢献された事は確かです。

然し此の処、国も福祉の面にも力を入れ又、市民のボランティア活動も活発化して来た昨今、奉仕活動も狭まって来た感が有ります。

其の狭間に有りながらも各クラブが智慧を絞り、限られた予算の中で奉仕活動をされて居られる事は夫れ成りに意義があるものと存じます。

一時期の勢いで意気盛んに邁進して来た感の有るLCでございましたが、此の処の世界的景気後退に対しては如何とも仕難い現状で有るうかと存じます。

何時の世も右方上がりばかりと言った時代も、業績も業績も有りません。

良い時も有れば伸び悩む時もあり、山あり谷ありで、耐え忍ぶ時もある訳で有りまして、今が其の時期なのかも知れませんが。然しLCは不滅です。

それに伴いエコー誌の存在意義も同様で有ります。

考え方は有りますが、昨今の現状を鑑みますと以前は奉仕が大前提のLCで有りましたが、此れからはメンバー同士の絆が前面に有つてそれを踏まえて、夫れに沿って奉仕活動が有り、夫れ夫れのクラブに見合った奉仕活動が望まれるべきかと存じます。

各LCのメンバーは素晴らしい仲間が沢山居られます。夫れ夫れが誇りを持つて真摯(紳士・淑女も居られます)な気持と姿勢を心掛け、ライオンズの精神を全うしたいものかと存じます。

主なライオン歴

1995年、クラブ初代会長

2003年、

2R2Z ゾーン・チェアパーソン



札幌スノートピア
ライオンズクラブ

L月居 吉彦

「改革されたガバナー

選出ローテーションを活用、
リジョンで責任擁立すべし」

★ライオンズクラブの健全運営を考え
ていく上で非常に大切なことにもかかわ
らず、あまり周知されていないことがあ
る。

昨年度(2010～2011)の地区長
期計画リサーチ委員会では当時の山口富
雄ガバナーの諮問を受けて地区ガバナー
選出にかかわる地区内各リジョン単位で
のローテーションについて検討協議し、①
現在の第二副地区ガバナーL小野寺眞悟
の次は第3リジョンから選出し、それ以降
は第5R↓第1R↓第6R↓第2R↓第
4R↓第3R…というローテーションでガ
バナー選出するという案と、②3年間は
第1、第2、第3リジョンから各年1名、
次の3年間は第4、第5、第6から各年1
名を選出するという2案を併記答申した
結果、山口富雄ガバナーは①案を選択裁
定し、2011年4月18日の第4回キャ
ビネット会議において当時のキャビネット
幹事がこれを報告しており、議事録にも
明記されている。

★したがって、今後は①案のローテーシ
ョンにより、在札のリジョンと地方のリジ
ョンが1年おきに交互にガバナーを選出
する、ただし、当該リジョンで当該年度に
ガバナーを擁立できない場合は次のロー
テーションになっているリジョンから選出
することとし、一度パスしたリジョンから
は次のローテーションが来るまで選出でき
ないということが決まった。

★近年は、クラブ会員の減少に伴い、単
一のクラブでガバナーを擁立し、キャビネ
ット役員を構成することが至難になって
いることを鑑みると、ガバナーを選出する
リジョンのローテーションを定めておくこ
の決定は先々の予定が明確になり、各リジ
ョンがそのローテーションにしたがって、あ
らかじめ、リジョン内クラブ間で調整協議
してガバナー候補を選出し、リジョン内各
クラブが協力し、責任を持ってガバナーを
擁立し、キャビネットを支える…という方
式を確立していくことが331-A地区
のライオンズクラブの健全運営の基礎と
なる必要不可欠な要件であると考えらる。

主なライオン歴

- ゾーン・チエパソン
- リジョン・チエパソン
- 地区献眼・献血委員長
- 地区長期計画リサーチ委員
- LCIF開発コーディネーター
- MERL委員



札幌東
ライオンズクラブ

L山本 晋

「もっと広く認知される組織へ」

「ライオンズクラブって、植木の根元
の看板に団体名が書いてある、あれか」
「横断歩道で子供の誘導をするおじさ
んおばさんね」「交通関係の設備にも
団体名が書いてあったな。あれ役所の
ものだろ、勝手に名前入れていいのか。
あ、寄贈だからいいのか」「献血の呼び
掛けもしてたな」「昔から見ると、ち
やんとした団体ではあるんだろうな」
「あれ全部タダでやってるの？ 奇特新
お金持ちなんだな」

私は、3年前に札幌東LCに入り、
以来、まじめな会員とは言い難いもの
の、献血や植樹、清掃、小6向け薬物
乱用防止教室の手伝いなどのアクティ
ビティに参加させていただきました。
また、YEやライオンズクエスト等、諸
先輩Lのライオンズ活動に間近に接す
る機会を頂きました。

一人一人の奉仕活動には人脈、知識、
資金、時間、体力の制約があり、またそ
もそも奉仕活動のきつかけがあると
も限らず、自ずと限界がありますが、
ライオンズクラブという組織があるこ

とによつて、その限界が大きく払われ
ることは素晴らしいと思つています。

ただ、ライオンズが日本社会に広く
深く認知されているかとなると、微妙
に心許ない部分があります。私は若い
頃、ライオンズとの直接の縁はなく、冒
頭に書いた程度の認識しかありません
でした。これからも活動の裾野を広
げ、社会にもっと広く認知され、自ら
奉仕活動をした、あるいは奉仕活動
にお金を託したい人々の広い受け皿に
なる、あるいは奉仕活動の情報交換の
場になる、そういう組織として発展す
ることが望まれていると思います。

昨年は大きな震災がありました。奉
仕団体として最も活躍したいところ
で、近畿の横領事件がありました。ラ
イオンズは、奉仕団体の老舗として、
日本社会の一定の信頼は得ていたと思
うのですが、それが大きく後退してし
まいました。今後、失った信頼を回復
すべく、日々の活動をまじめにやってい
かねばと思います。

さて、今年の私の目標は…薬物乱用
防止教室の認定講師になることと、私
自身の献血を受けてもらえる身体に
なることです。

主なライオン歴

- 2011年、クラブ会計



札幌ライオンズクラブ
ライオンズクラブ

L 柳田 浩道

「キャビネットは実態にあった
クラブ組織の指導を」

今、全世界的にみてライオンズクラブの大きな課題は「会員減少と高齢化」に歯止めが効かない危機状況にあります。

「ライオンズ情報・統計」によると、会員が一番多かった時は平成4年度の168,038人でした。方や平成22年度は103,591人と最盛時に比べ△64,447名、率として61.6%。クラブ数も平成16年度の3,424クラブから3,257クラブと△167クラブ、率として95.1%となっておりです。

1クラブに換算すると1クラブ会員数平均が31.8人となります。ベビー・ブーム世代が定年を終えた昨今、会員平均年齢も61〜62歳位と高年齢化。日本のライオンズクラブで30代の人は全体の5〜6%位との統計もあり、若年層会員と女性会員獲得がライオンズクラブ運営の今後の鍵となります。

331-A地区でも最盛期には

4,200名いた会員は現在2,400名台になり、最盛期の約半分位となっておりライオンズクラブの根幹に関わる課題として取り上げられ、国際会長のウインケン・タムがその組織のトップとして改革に取り組んでおり、キャビネット組織にG M T(グローバル会員増強)とG L T(グローバル指導力育成)を組織し改革に取り組んでいます。単一クラブ組織はキャビネット組織と一致していないのが現状です。

クラブ組織も会員増強委員会と指導力育成・研修委員会がクラブの柱としての位置づけが必要と思われるが、手を付けなければ単にクラブ存続への危機感を募らせるだけに終わってしまいますので、キャビネットが音頭をとって改革を進めていくとが大切だと思います。

.....

- 主なライオン歴
- クラブ42代会長
- 3R2Z委員、地区PR情報副委員長
- 地区エクステンション委員長
- 地区PR委員



札幌西ライオンズクラブ

L 福田 弘

「組織活性化についての
委員会が活動の要に！」

私達のクラブは各種のアクティビティには多くのメンバーが意欲的に参加し働いております。またクラブの諸行事も実行委員会を立ち上げ、創意をこらした内容で楽しい行事を演出しており、共に高い評価と自負しております。

しかし、今一つの物足りなさも感じております。クラブを一体の人間に例えた時、A C Tや行事の実行は、手足、腰などが健康体であれば、それなりに可能であり、運営は三役、執行部(頭脳)が賢明であるために正常に機能しておりますが、体内の胃、肺、腸、腎臓、肝臓、その他の器官は果して大丈夫かと心配しているところです。

私は前期会長を務めました。活動の基本方針の一つに「各委員会が活動の要に！」を提起しました。

現実的には多忙さにかまけて、この課題の追求は中途半端に終り非常に悔いを残しました。

その中で「会員増強特別委員会」は、委員長のリーダーシップのもとで、5回程の会議を重ね、その内容をクラブ全体に伝え、多数の協力を得て「5名の新入会員を迎えると共に、退会者ゼロ」を達成出来ました。

この委員会の活動の教訓を他の委員会の活動に十分反映出来なかつた事を深く反省すると共に、ここにライオンズクラブの今後の成長に向けての教示がある事を感じております。

委員長の猛烈な奮闘に支えられるだけではなく委員会を構成する5〜6名のメンバーが、自分の委員会の任務や課題を深め合い、実践行動を全体に提起する。組織としての原点に立つ事が重要だと考えます。

.....

- 主なライオン歴
- 2007年〜 クラブ幹事
- 2010年〜 クラブ会長



札幌新星
ライオンズクラブ

L 原 孝 男

「誕生から1年を振り返り」

昨年、札幌すずらんL.C.、札幌北斗L.C.、両クラブ1名の退会者も無く又、札幌でいねL.C.にメンバーも加わり、4月12日結成会、6月14日に認証伝達式を行い、We Serveのもと集ったメンバーは、志は同じ一致団結し、地域に根差したアクティビティ活動に、邁進して参りました。

● 青少年軟式野球大会では、選手の真剣なファインプレーを見、● 少年少女柔道大会では、選手たちの気迫と技を見、● 大通り地下街献血ルーム前での病気や怪我で苦しんでいる方々の為に献血の呼びかけ、● 10・8ライオンズデー統一アクティビティは、道民の森神居尻地区での植樹をし、● 2012年在札37L.C.合同新年交礼会は、地域会員の交流を図る為、当番クラブとして開催、● 第58回地区年次大会は、ホストクラブとして開催又、講演部会として担当し多くの方々に喜んで頂き***

例会・行事は、「納涼例会」でふれあいを、「おたのしみ農園例会」で家

族揃って芋掘り体験学習、「健康を

考える例会」でおもいやりを、「クリスマス家族例会」で家族に感謝、「湯けむり例会」で友情を育み、「結成一周年」で理解を深め、「チャーターナイト記念例会・お別れライガー」で絆が生まれる、我がメンバーL三澤聖一第二副地区ガバナー立候補などを通じ、今思うと毎月何かの親睦レクリエーションや行事・事業があり、例会や理事会では、自由に意見を出し、共に知恵を出し、汗を流して、おもいやりとふれあいを第一に考え、会員増強に力を入れてまいりましたが会員皆様のご協力で2名の会員を増強する事が出来、スポンサーの方には大変感謝をしております。今後共力を入れてまいります。さて

今期は、全員参加型のクラブ運営が出来たのではないかな〜と思いません。無我夢中の中で1年が過ぎ、固い絆作りが成功したことに、メンバー皆様の友愛に感謝と御礼を申し上げ一年を振り返り、エル字を指で作り高く掲げ、We Serve.ありがとう。感謝。

.....

主なライオン歴
2011年、クラブ初代会長



岩見沢
ライオンズクラブ

L 伊藤 益 栄

「ライオンズ活動の将来像」

エコー誌500回発行おめでとうございます。

さて、ご依頼されました表題について意見を述べさせていただきます。

まず我がクラブの現状を申し上げますと、障がい者パークゴルフ大会、独居高齢者宅除雪アクト、市内の孤児院の生徒を招いての納涼例会、などの社会的弱者を対象にしたアクティビティと、青少年健全育成を目的とするチャリティーパーティー、小学生(高学年)を対象にした自転車による遠距離ツアーなど、青少年育成に貢献するアクティビティを独自に実施しております。

上記のアクティビティは、参加者から非常に喜んで頂いており私個人としては、今後とも継続していつて欲しいと思っておりますが、ただこれだけのアクトで胡座をかいていて良いのかと言う思いもあります。

よく知人にライオンズクラブって何をするクラブなの?という質問をされる場合があります。私はいつも

ボランティア団体ですと答えますが、その時、聞いてきた人は大体訝しげな表情を浮かべます。

彼らのライオンズクラブに対するイメージというのは、おそらく会社経営者たちの親睦団体的な集まりというような捉えかたをしているのではないのでしょうか。

これを払拭するには、やはり一般市民の目の見えるところで汗水流すような労力アクトが一番効果的ではないでしょうか。

そうする事によつて、市民の見る目も変わっていく、我々の活動にもどんどん協力をしてくる下地が形成されるように思います。

一地方のライオンズクラブの在り方としては、市民に愛され子供たちからも尊敬されるような団体を目指す、その為には日頃の労力アクトを中心にした地道な努力が肝心ではないかと思えます。

.....

主なライオン歴
2006年、クラブ幹事
2010年、第2副会長(第1副会長)
2011年、クラブ会長



美唄
ライオンズクラブ

L安藤 淳

「認証50周年を終え、
更に心を二つのより良い活動を」

2011年は、美唄ライオンズクラブ、認証50周年の記念すべき年でした。331-A地区の皆様にご祝福とご激励を戴き、身の引き締まる思いと皆様のご厚情とご期待に応え、更にライオンズ精神を高め、世界平和や人類、地域に対する活動を発展深化を図るよう心に深く誓いました。記念事業として、東日本震災の復興を願い、全員LCIFに1000ドル献金を行いました。また、美唄ライオンズクラブは、2012年〜2013年のガバナーとして、L渡辺修を擁立しました。ガバナー出身ライオンズとして、クラブ会員一同が心を一つにして、ライオンズの目的や道徳綱領に基づいた、クラブ運営をしようと話し合っており、経済の低迷と人々の意識の変化、更には地方小都市がもつ問題を全て抱え、人口、産業、経済の衰退で、ライオンズクラブも往時は90名の会員を擁していましたが現在は三

分の一に減少しています。地域にしっかりとライオンズの活動を認識してもらうことが大切で、全小中学校で、薬物乱用防止教室を開催、地球温暖化防止のため植樹活動、ふれあい広場、夏祭り、雪まつりなどのイベントに協力、一時衰退した市の氏神空知神社への提灯の奉納、桜庭園の造成など、あらゆる場面でライオンズの姿が見えるような活動をしております。また、会員のライオンとしての資質を高めるため3年ほど前から、第1例会に、ライオン誌日本語版編集の「ライオンズ・スクール初級編、中級編、上級編」を、地区名誉顧問・元地区ガバナーのL古谷野環を講師に学習し、併せて国際協会、全国のクラブの動きやMD331の動向も織り込み会員の視野の拡大に大変有意義でありました。

最後に、私ごとですが、ライオンズに加入したのは1994年、当時は会員が60余名で、切磋琢磨、人間として高い理想を持って企業活動、団体活動に取り組む事によって、地域の人から信頼され、組織として人として成長するのは是非入会をと、当時の会長L平良重治、スポンサーの美唄医師会の会長L元木賢次に推められました。私は、公務員生活が長く、交際範囲や視野が狭かったの

でライオンズに入り、第2の人生を地域のため、社会のために役立つ活動をと、12月に入会しました。入会した頃は、例会も活気にあふれ、参加することが楽しく、発見や学ぶことが多く、年次大会、東南アジアフォーラム、国際大会にも、L古谷野環に指導を受けながら参加し、とても充実した第2の人生を送ることができました。いつの間にかクラブでは最高齢の会員となりましたが、一会員として少しでもライオンズ活動の役に立つ努力をしたいと日々心に誓っております。

主なライオン歴

2001年〜 クラブ会長
2004年〜 地区キャビネット事務局長



月形
ライオンズクラブ

L神田 勝行

「地域と共に歩む」

1964年月形ライオンズクラブは、美唄ライオンズクラブのスポンサーにより24名のメンバーで誕生しましたが、現在は20名という少数のメンバーにより活動を続けチャーターメンバーが1名おり多くのアドバイ

スを受けております。

私は1980年入会致しましたが入会には理事会に於いて全員の賛成により決定するという厳しいものでした。現在は頼んで入会してもらう状況で、従って簡単に退会もありません。

月形町は人口約3,700名。小さな地域ですが、将来を考えると地域に適したACTを考える必要があると思います。

歴史があり福祉施設が多く、特に福祉に適したACTを地域住民を含め行うことにより会員増強にも繋がると思います。

主なライオン歴

第30代 第46代クラブ会長
1996年〜
地区環境保全交通安全副委員長
2000年〜 4R1Zゾーン委員



岩見沢中央ライオンズクラブ

L溝口 裕信

「止まり木のようなクラブとして」

長く雪に閉ざされた冬も終わり、道内も桜の開花が話題になる時期となった。現クラブ執行部も日を追うごとに笑顔に満ち溢れ、後僅かで終わる重責を心地よい春の風を感じながらクラブ活動を行っている。

今年認証40周年を迎える当クラブではチャーターメンバーが5名在籍し、その内お二人が元地区ガバナ―で地区名誉顧問である。クラブ運営はその豊かなライオンズスピリットを備えた素晴らしい大先輩の温かく見守る中で行われ、ライオンズクラブとしての相互理解を深めながら互いに協力し和気藹々に活動を続けている。そのチャーターメンバーも平均年齢が81才を超えた。クラブ最年長は89才で最年少は43歳であり、実に倍以上の年齢差がある。また、この30年間で平均年齢が12才以上も上昇した。情熱に燃えてクラブを結成した当時と今では、その時代背景や体制が大きく変化する中でも少しずつ形を変えながら活発な活動をし

ているが、高齢化そして世代間のギャップは如何ともし難い。年齢の間層にいる私を含めたメンバーがお互い知恵を出し合い各世代の繋ぎ役としての役目を果たしていかなければならないのだろうと感じる。

昨今の経済情勢と会員の減少傾向が続く中でもクラブ活動を通じ、これまでのように常に原点を見つめながらその誇りを忘れずに、ホッと一息できる止まり木のようなクラブとして永遠に続く事を願いたい。

.....

主なライオン歴

- 1996年〜 地区青少年育成・レオ・ライオネス委員会副委員長
- 2002年〜 地区IT委員
- 2006年〜 クラブ会長



南幌ライオンズクラブ

L石井 真生

「今後も精進を積み重ねて」

エコー誌発刊500号という節目を迎え、ライオンズクラブの益々の発展を祈念しております。

当クラブは、満43周年にあたり、数々の先人ライオン達が誇り高い志で、クラブ活動を運営して

り、継続的に奉仕活動に支障をきたさぬよう、皆が努力、精進を重ねてきた賜物と思っております。私が入会した平成10年頃は、会員数も40数名おりましたが、現在17名となり皆で助け合つて、意思の疎通も解り合える仲間が集まっています。

顧みますと入会当時は厳格な雰囲気の中で、遅刻やお休みをいただく時にドネーションを出しても先輩ライオン達よりお叱りを受けてたものです。周りのブラザークラブ同様、各市町村単位のクラブを為、他町村から新たな人材というのは期待できません。会員も町内在住に限られますので、会員数の減少、最低現状維持の状態が続いております。先日の諮問委員会でもブラザークラブの存続の危機がこのところ言われており、一致団結して協力しようという事になりました。自分も各市町村ごとに同業者がおりますので、特に後輩達にはしつこく声かけをしています。現会長としては常に危機感を持っています。今年度は各役員等の改選等もあり、増強のチャンスかと見えています。時代背景は決して明るくはありませんが、このライオン達と異業種のお付き合いを大切にしながら、きつと来る事を信じてクラブ活動に

従事していきたいと思います。

.....

主なライオン歴

- 2007年〜 クラブ幹事
- 2011年〜 クラブ会長



由仁ライオンズクラブ

L柳澤 守

「今こそライオンズムの原点へ」

私は、クラブ入会年次は可成るいが仕事の都合上、クラブ活動に充分貢献していないので余り大きな発言はひかえるが、過日読んだライオン誌の国際会長テーマ「信じる」にちなみ発表された方の一文に心を惹かれた。要約すると日本で初の国際会長になられたL村上薫の残した一説である。

彼が創設者メルビン・ジョーンズご存命中に国際本部に同氏を訪ねた時の会話である。「あなたのお創りになったクラブが現在日本で、又、地球上の各国でどんどん誕生しています。さぞかしご満悦でしょう」と申し上げたらしい。その返答はL村上には忘れることが出来ない言葉となり脳裏に焼き付けられた。

「ただ単に数だけ増えることは何

の満足にもなりません。私の求めるのは善意の人、より優れた立派な人であることです。極言すれば烏合の衆であればいくら増えてもゼロに等しい。質の充実こそ私が最も心を痛めていることです。」との発言で、以後L村上もライオニズム高揚の座右の銘として活躍されたとの一文であります。

40年前の日本では、クラブの創設や会員の増強を最大の目標という気運が随分強かった様です。ためにわが町でも発足時は街の有力者や役職者の方々をもって設立構成された様で、以来永年にわたり会の運営も種々変遷もあつたし、思考錯誤もくり返し今日に至つております。

しかし、現在展開されているクラブ活動は誠に充実した運営で、私の如き旧い者も感服しているところで、加えて奉仕の真髄に賛同された女性会員も参加されたことは、誠に心強い限りであり今後のライオンズ活動は磐石と信ずるものであります。

.....
 主なライオン歴
 チャーターメンバー
 2003～2012年 クラブ会員委員長



滝川ライオンズクラブ

L中島 康文

「近年の奉仕と原点の考え方について」

ライオンズ歴はさほど長くはないのですが、私の考える活動の現状や問題点・課題について述べさせて頂きます。

当クラブでは、青少年関連のアクティビティが多くあり、現在は、薬物乱用防止教室の実施、障害を持つ子供達を集め実施しているふれあいリング狩り、青少年柔道大会、ライオンズ旗争奪中学校野球大会、たきかわミュージックフェスタ、東日本大震災復興資金獲得のチャリティーショーなどをやっております。

その中で思う事は、時代背景が変わり、なかなか関係の人達の集まりも悪くなつてしまった事業の事です。

特に近年は、リング狩りの様な事業は、めずらしい事ではなくなり、子供達の集まりも悪く今期中止となりました。

この背景は、めずらしくない、買えば幾らでもリングは食べられる、また、引率する立場の方々も土曜・日

曜は休みたい、などといった考えがあるのかもしれない。

その中で、我々ライオンも考えなくてはいけない事があります。

「せっかくならうやつたのに」「一生懸命だつたのに」などと、奉仕活動を楽しめなくなつて言っているのは、私だけではないと思います。

逆に、「時代背景が変わつた。」とか「成果が出て終了した。」と考え、時代にマッチした事業を計画する事の方が大切なのだと、最近考えております。

こちらの都合を押しつけた様な事業が長続きするはずもありませんし、本来の奉仕の原点は何なのかを考える時代が来ているのではないのでしょうか？

私は、実施して喜ばれる事が奉仕活動の原点と考えておりますが、この辺が課題であり問題点である気が致します。

皆様方はどの様にお考えになりますでしょうか。

.....
 主なライオン歴
 2004年～、2006年～ クラブ幹事
 2009年～ クラブ会長
 2010年～ 5R1Nゾーン委員
 2011年～ クラブPR委員長



江部乙ライオンズクラブ

L豊島 貞雄

1.「ライオンズ活動の現状問題点と課題」

エコ誌は本年3月号をもって500号を発行するに至り、増刊号なので読者が購読欲をそそる課題ノンフィクション号と思いきや、ライオンズの活動の現状問題点と課題と言ふかたぐるしいテーマを依頼され、しかも投稿者はライオン活動に高い見識を持つ者と希望され、いささかてれくささを感じる次第である。テーマは漠然と投網をかけた題なので、私は植林問題について筆を取ることにしました。

私はチャーターメンバーで入会し、後数年で50年になる訳ですが、この植林問題は数え切れない程の植林アクティビティは他のクラブも同じではないかと思われる。

その中で2点取り上げて報告したい。
 昭和47年、当地区に養護老人ホーム、現在300人収容施設の回りに1Kメートルの散策道路があり、当クラブは、両脇に桜の苗木数百本を

植林し、地方誌は京都の名を借り哲学の道完成と迄書いていただき、クラブの功績は大でありました。又、当クラブの20周年の折りには、時のガバナール少覚(故人)により331-A地区総力を上げ、当クラブは市が造成した公園に会員、家族、知人、造園業の方々の協力ですばらしい公園となり、メディアにも取り上げられ市より感謝状をいただき、市に移管致しました。この2点は市に移管した後、時代は流れ不況、市の財政難により大きく様変わりしたのです。養護老人散策道路は車道となり、車が通る関係上道路幅を広げ、桜の木は跡形もないのです。

造成公園は地元の者でさえ入口が分からない袋小路、予算不足で年1回草刈りする程度で、水木しげる氏のキャラクターが出てくるような雰囲気、むなしくも滑稽にも思える。

今後植林に関しては数年先を見据え計画を立てるべきであると、現会長(L榎本)は地区のキッズキャンプ場(難病)施設に散策道路にハスカープ、ブルーベリー等5月9日に実行した。

2.「ライオンズ活動の将来像」

老人アクティビティについて、数年前老人施設で、当クラブが年の瀬に

クラブのハッピを着てもちつきを、ギヤラリーには入居者がずらりととりまいて、全国もちつき歌(民謡)を流し、威勢のよい掛け声でもちつき、入居者がのどにつかえないよう小さく切ったもちを食事時間に食べてもらった。

そのばあちゃんの娘があのもちおいしかつたもう一度食べたいと思いついては言う、本人は数年前亡くなったそうです。

もちはすぐ食べさせることは出来るが、食べたかったのはあの雰囲気だったでしょう。

又、メンバー数名で小さな老人施設で、戦前、戦中の頃入居者が若かり頃の曲をメドレーで小さな楽器、ハーモニカ演奏をした。

ハーモニカの音色は独得なものがあり、思い出したのかりズムを取る人、体をゆする人、思い出したのか目に涙をしていた。

これはどこの施設に行っても同じで特に童謡はよろこばれる。聞いている方々はまさに里に立つわらわらなのでしょう。

演奏のあいまに話を聞いてあげ、握手して今度いつ来ると聞かれると質問にこまります。

今や我が国は70才以上の人口2000万人を越える。筆者も69才

ですから、後数ヶ月で仲間入り、老人に関するアクティビティ活動は、金銭解決奉仕はまったくのナンセンス奉仕、心と心がふれあい、話を聞いて上げる、それこそ絆アクティビティ。

……………

主なライオン歴
クラブ会長
ゾーンチエアパーソン



滝川中央ライオンズクラブ

L 齊 藤 稔

「認証30周年をむかえて」

我が滝川中央ライオンズクラブ認証30周年記念行事が開催される事になり、私のライオン歴も30年、今過ぎし年月を思うとき感慨深いものがあります。

1981年12月12日、スポンサークラブ滝川LCより移籍会員21名、新入会員14名、計35名で結成式を行い、1982年6月6日、日本で2530番目、道内で188番目、331-A地区で49番目、そして滝

川では3番目のクラブとしてチャーターメンバー42名、感激を胸に秘して認証状の伝達を受けて早くも30周年を迎えました。

私は初代会長L斉藤春雄のスポンサーで入会しました。新クラブは在籍年数が浅い会員が多いことから、例会出席や会員の意識向上を図る上で委員会活動、同好会活動を活発に行い、会員相互のコミュニケーションが良く出来ました。

私も2年目にテールツイスター、3年目に会計に指名され、4年目に滝川に少覚ガバナールが誕生しました。滝川中央LCより幹事にL近藤富貴雄、会計にL斉藤春雄、大会委員長にL男澤義久、副幹事にL長田勇、そして私が副会計として指名を受けましたが、キャビネット役員は会長経験者ばかりで新人の私はいへん勉強させられました。

私が滝川中央ライオンズクラブの11代会長に就任し、結成11年目若いクラブより念願でありましたL近藤富貴雄が331-A地区ガバナールに就任され精力的に数多くのキャビネット行事を成功されました。

私は「クラブの総力をあげキャビネットを成功させよう」を会長テーマとして会員75名の内40名がキャビネットの内局にPR委員会、大会関

係の役職に向向する中で笹木信弘幹事、矢口吉昭会計を中心に当期は数多くの奉仕活動に取り組みました。

多くのアクティビティの成果が挙げられたこの1年はまさに、ガバナーウオッチワード「心このこるこの1年」「明日につなぐこの1年」として今後続くものと思います。

第39回地区年次大会において「地区優秀賞」をはじめ7つのガバナーズアワードを受賞し、小樽で開催された複合地区年次大会にはクラブ運営特別賞の最高のアワードを受賞しました。

会長の私を支えて戴いた全会員の情熱と協力に感謝申し上げます。又、15代笹木会長の時には15周年記念実行委員長に指名され、多くの会員の協力で数々の記念行事を終了したことは今も思い出に強く残っています。

2004年にL近藤富貴雄が12名の同志と共にそらちライオンズクラブを設立し、我がクラブを退会されたことは、私にとって大変淋しい気持ちになりました。当初42名のチャーターメンバーも現在L長田勇と私の2人になり、又亡き各メンバーを数え、その多人数に驚き月日の重みを感じ、自分自身が今日あること

に感謝する日々であります。

30周年を契機として会員一同決意を新たに、結束を固め明日への出発点として明るい豊かな社会づくりに奉仕活動の輪を広げていく事を誓うものです。会員諸氏の健康と一層の活躍とクラブの更なる発展をご祈念申し上げお祝いの言葉と致します。

主なライオン歴
チャーターメンバー
1992年〜 クラブ会長



砂川
ライオンズクラブ

L押尾 良悦

「砂川LC活動の現状と未来像について」

砂川LCは1960年に結成された第5Rで最古参の輝かしい歴史と伝統を誇るクラブで、その活動状況と、未来像を紹介いたします。

先ず出席について、出席なくして奉仕無しと云われる程、出席はLCの原点であり、何と云ってもメンバーの自覚と、責任にあります。

新入会員のオリエンテーションでは毎回お話しすることですが、入会

後、最初の数年が一番重要な時期で、この間を100%でクリアー、その後5年、10年と年を重ねると、僅か一度の欠席で長年積み上げて来た努力を無にすることが出来なくなり、更に新入会員にも徐々に役職を分担していただき、クラブ活動に参画していただき一日も早く、一人前のLに成長していただくことです。徒に例会出席を義務付けても、例会は盛り上げるものではありません。如何に魅力ある例会にするかを考える必要があります。

例えば、①ゲストスピーチ、メンバーを増やすこと。②食事の内容に変化を与えること。③着席場所の固定化を防ぐこと。④移動例会等で気分を変えること。⑤合同例会等を試みる。⑥新入会員が定着するまで、スポンサーがサポートし、早く独立出来る様に努力すること等。

次に奉仕について、ウイサーブは私共ライオンズのモットーとするところであり、それぞれに、仕事と生活に懸命に努力している人ばかりで、そうした中から、たとえ僅かでも無駄を省き、各自の金と時間と労力を割いて、不幸な人々を助け、住み良い地域社会づくりに精進する努力が、LCが目指す「奉仕」というものです。LCのアクティビティが各種の

福祉公共機関などへの金品の援助するだけにとどまらず、メンバー自らが汗をして、さまざまな、労力奉仕に励むのもそのためです。

たとえば、メンバー一人一人の力は小さくても、それがクラブに結集できれば、大きな社会貢献を果たすことが出来ます。

砂川LCの創立以来の金額アクティビティの累計が8,500万を超えています。

「ライオンの光」の一節に「本の明かりは小さな明かりで、それはわずかな身の廻りを照らすにすぎない、しかし幾千萬ともなれば、影と闇をなくす巨大な明かりになるに違いない、そして地域社会の隅々を照らしつづけるでしょう。ウイサーブ!!

主なライオン歴
クラブ会長
ゾーン・チエアパーソン
リジョン・チエアパーソン



そらちライオンズクラブ

L川端 克利

「先輩を敬い後輩を労る」

我がクラブ会長スローガン「最高の絆、その先の最高の笑顔のために」へ向かって、メンバー全員が団結し行動力を持って実行しているところで

す。
 昨年の東北地方太平洋沖地震(2011・3・11)災害時には、2回の災害人道支援に(1回目2011年4月2日、2回目7月17日)行き、そば・うどん・おでん・焼き鳥の炊き出し等を行い、福島県福島市、岩手県大槌町の皆様方には大変喜ばれ、その先には最高の笑顔がありました。

そこにはメンバーの温かい優しい心がかさなり、どんなにか勇気と元気が出た事でしょう。これこそが真のライオンズ人と言えるのではないのでしょうか。

さて、我がクラブは、下は36歳、上が80歳で年齢の差は相当のひらきがありますが、デイスカッションも大変ユニークなもので、和気合々の中で行っております。これもひとえに先輩

を敬い、後輩を労ること”につぎるのかなと思われま。老いて子に従え”とありますが、全くその通りだと思います。

メンバーは皆な仲の良い仲間です。

これからのアクティビティについては、その時の会長に沿ったもので、良いのではないのでしょうか。ただ、我々の年代は余り永くはないと思われますので、早い時期から若いライオンをゆつくりゆつくり育てて行くのが一番だと考えます。未来は君達の笑顔に”

長々と、どうもありがとうございます。深く感謝申し上げます。

.....

主なライオン歴

- 1998年、クラブ会長
- 2005年、クラブ会員委員長
- 2011年、地区YE委員



滝川グリーンライオンズクラブ

L南 博雅

「ライオンズ活動の現状と問題点」

クラブ会員増強が毎年叫ばれ招待例会等でなんとか新入会員を獲得しようとして努力してみるも年度末

には退会者が出て会員数の純増は伸び悩んでいるのが現状ではないでしょうか。中には人数を増やし活動も積極的に進んでいるクラブもあり

ますが少数ではないかと思われま。また会員の高齢化にも目を向けなければなりません。新会員が増えない中改めて周りを見回すとお互いに歳を重ねクラブの平均年齢を押し上げています。世の中は団塊の世代が定年を迎え少子高齢化に向かっています。出生率の低下、景気の低迷、中小都市の過疎化等この先極端に会員が増える要素がないように思われます。また最近の奉仕活動(ボランティア)の多様化も影響しているのではないのでしょうか、会費や例会の出席に縛られることなく様々な団体あるいは企業や個人で気軽に身近なボランティア活動に参加したりあるいは自ら行う時代になってきています。

会員数がクラブの体力となり活動エネルギーの大きな要素となりま。極端なクラブ員の減少はその維持が危ぶまれます。ここ第5R2Zでも数年前に三つのクラブが解散に至りました。これからのライオンズ活動はクラブ内の融和を大切に、身の丈に合ったアクティビティを行って行くしかないのではないでしょ

うか。もちろん力のあるクラブは勢力的に活動を進めて貢献されて頂きたいと思えます。

.....

主なライオン歴

- 2011年、クラブ会長



沼田ライオンズクラブ

L山田 英次

「35年を回想して」

「エコー誌」発刊500号発刊ありがとうございました。私は35年間愛読してきました、これからも長く続けて発行してください。

私は、沼田ライオンズクラブに所属しており、クラブは331-A地区最北に位置し四季折々すばらしい地域です。

入会時は北海道はA地区とB地区があり、当クラブはA地区に所属し函館・苫小牧・小樽等に年次大会に参加した記憶があります。

当時、ライオンズクラブに入会するのも大変な時期で、私などのような零細飲料店経営者等は殆ど会員になれず、私は強力なスポンサーの声を掛けて頂き入会に至ったので

ライオンズの掲げるスローガン。モットー・誓い・使命等に共感を覚え、すこしでも奉仕に参加できるならばと入会させて頂きました。

入会時は、先輩ライオンズに言われるままに行事に参加し、特に年次大会は欠かさず参加致しました。

役員職もクラブの方針に従い一生懸命に勤めました。

35年を回想するに、ゾーン内のソフトボール大会、各クラブの周年行事に参加しブラザー・クラブとの友好を深められたこと、2006年私が沼田クラブ会長の時に、沼田町と友好関係を結んでいる、カナダ国ポートハドレーとの交流で、団長として訪問した際、ポートハドレーライオンズクラブの例会に参加した事（特別に当日例会を設定）、内容は紙面の制約がありますので折りを見てお話をしたいと思います。

色々なクラブ会員、数々の奉仕活動等、ライオンズクラブに席を置いてこそ出来た仕事と感謝しています。他の人から見てどのように映っているかは解りませんが、地域に微力ながら奉仕させて戴いた事に安堵しております。

これからも力の限り、クラブ会員の足を引っ張らないように We Serve の心で頑張っていきたいと思

ます。

結びにライオンズクラブ会員が力を合わせ、世界平和と会員のご健勝を祈念し、500号発刊記念のお祝いと致します。

.....

主なライオン歴

1991年〜 クラブ会長
1999年〜 地区PR委員



当別ライオンズクラブ

L安藤 英司

「CN50周年に向けて」

ライオンズクラブ国際協会331-A地区「エコー誌」500号発行、誠におめでとう御座います。諸先輩ライオンズクラブ会員の皆様、ここまで編集されてきました歴代のキャピネット役員の皆様の多大なるご尽力を心より感謝申し上げます。

さて、当別ライオンズクラブも来年度は周年事業、CN50周年を迎えます。この歴史あるクラブに入会させて頂いた事はとても光栄に、そして誇りに思います。

ただ、当クラブも会員減少の波が押し寄せてきているのは事実で当クラブ40周年時は47名、現在は40名の

会員数で7名減少しています。会員

増強活動はもちろん最重要活動です。また、数年前から言われておりますこれ以上の会員減少を阻止する事も重要活動だと思えますが、現在の経済状況等を踏まえますと減少した会員の中でも今までと同じ活動をしていく方法を模索するのも必要な時が来ているのではないかと、私は感じています。その中で私たちがACTを「元氣！」に「楽しく！」活動し、それを多種多様な方法で地域住民へアピールし、今まで以上にライオンズクラブを理解して頂くことが会員増強にも繋がるのではないのでしょうか。

.....

主なライオン歴

2010年〜 クラブ幹事



江別グリーンライオンズクラブ

L大江 哲生

「ライオンズクラブへの想い」

江別ライオンズクラブに入会したのは、昭和55年（1980年）5月であります。

事業も方向づけが決まり、落ち着いた時であります。

元々、J・C育ちでありボランティア団体に興味を持つていました。但し当初は偉い人々が上座に控え気後れしたのを覚えています。

以来32年、時代も変わりライオンズクラブも変わりました。但し、ライオンズの基本の精神は変わらないはずで。常日頃思うのは「五徳」であります。年配者は五徳といえは理解いただけると思いますが、火鉢の炭の上に置かれた3本脚の鉄具です。

3本脚で何故に五徳なのか。広辞苑によると儒教の温・良・恭・儉・讓の五つの徳目であり、もし脚が4〜5本であれば座りが悪くなります。

ライオンズクラブに於ける3本の脚（柱）とは何か。

まず、第1は奉仕の心―ウイサーブであります。第2は友情―仲間意識であります。第3は市民としての品性でなからうかと思えます。

そのいずれが欠けても大人として、ライオンズクラブのメンバーとしての型を成さず、醜い姿になります。

新しいメンバーの中には「入会してみたら何らメリットがない」と退会する人がおります。ライオンズクラブのメリットは目に見えるものでなく、心に宿るものであります。終生人間勉強と考え、お付き合いさせて

戴いております。

10年ほど前の事です。年次大会の後の懇親会に於いて名誉顧問がスピーチされました「ライオンズクラブは軍隊によく似ている。ガバナーは大将である、リジョンチェアマンは大隊長である、ゾーンチェアマンは中隊長である。各クラブの会長は小隊長である。…すると俺は兵卒か…つい数年前は大隊長という事だったのか」

思うに、ライオンズは縦社会の意識が支配しております。ボランティア組織であるからには、平面的な円(横)の社会が本当であると考えます。

一考まで…

2012年5月

……………

- 主なライオン歴
- 1992年〜 クラブ会長
- 1998年〜 ゾーンチェアパーソン
- 1999年〜 リジョンチェアパーソン
- 2000年〜 長期計画リサーチ委員



千歳ライオンズクラブ

L敦賀 秀生

「クラブ事業が市の行政に

何らかの刺激を与えているのか」

千歳ライオンズクラブの活動状況において、現在千歳市の文化・教養活動をはじめ、ごみ拾い、植樹等の環境整備、また薬物に関わる青少年問題等、幅広い分野への積極的な参画を推進しており、その取組み姿勢は高く評価できる。

この中から発生する問題点及び課題としては、クラブ事業が、そのクラブの単なる年間行事のスケジュール消化という形で終わっていないか。つまり、クラブ事業が市の行政に何らかの刺激を与え、市民に対する豊かな行政サービスの提供を伴いながら、啓蒙活動的な色彩を持ち得ているかという極めて難しい側面がある。

この課題をふまえ、ライオンズ活動の将来像を考えた場合、単なるクラブ内の活動に終始するのではなく、クラブの活動を発信源とした市民参加型の提案と企画推進のリーダーシップを如何に取っていくかに

ある。

市政と連携し、市民の参加を得ていく中にこそ、ライオンズクラブの存続意義があるのではないかと考える。

クラブの垣根を越えた、ロータリークラブ等とのコラボレーションがあつても良いのではないかと考える。併せてクラブ発展の大きなポイントは、新会員の増強と普及にあると思う。多くの方々のライオンズへの加入と活動を期待している。

……………

主なライオン歴
クラブ社会福祉環境委員



恵庭ライオンズクラブ

L島田 道朗

「ライオンズクラブは誰のもの？」

私の所属する恵庭LCでは毎年、恵庭ロータリークラブと合同例会を行っています。ライオンズクラブでは「We serve:我々は奉仕する」がモットーです。個人ではなくメンバーが集い様々な奉仕活動を行っています(乾杯の時にもウィーサーブ!ですね。)一方、ロータリークラブでは「I

serve:私は奉仕する」と言います。

クラブは、奉仕をする会員個人個人の集まりであるからこのことです。ご存知でしたか。この「I」と「We」は、些細なようで大きな違いのように思えます。

そもそもライオンズクラブは誰のものでしょうか?国際会長のものでガバナーのものでもありませんね。当然私のもでもありません。それは「我々のもの」としてはどうでしょう。私は、「我々のもの(Our Lions Club)」が、しっくりくる気がします。

それでは、「我々(We)」とは誰のことでしょうか。自分のクラブではクラブメンバー皆が、キャビネットの事業であれば地区メンバー皆が、国際大会であれば世界中のメンバー全員が「我々(We)」になるのではないのでしょうか。

このように考えると、諮問委員会などでよく聞かれる「突然キャビネットでも、何々の事業をしようと言われでも困る。」とか「LCIFの献金を急に言われても…」とかの質問に対する答えが自ずと導きだされます。事前の意思疎通は当然ですが、キャビネットや国際協会で何か事業が企画されたときは、「それは我々の事業(Our Activity)である」と考えるべき

とが大切なのではないのでしょうか。これを上意下達で、「やらされている」と感じた時に、不満が生じるのだらうと思います。

大方の事業は強制ではありません。ただ、緊急を要する献金もあるでしょう。全てが全て、年度頭初に決まらないこともあるでしょう。しかし、これらも「我々の事業（Our Activity）」なのです。

我々LIONSは、様々な場所で奉仕活動を展開しています。国内や海外でLのバッヂを目にした時に、「こんな所にも仲間がいる」という感慨を覚えるのは私だけではないでしょう。

LIONSは我々のものであり、我々がLIONSそのものなのでから。

主なライオン歴

- 2008年、キャピネット事務局長・地区環境保全委員長
- 2009年、クラブ会長
- 2011年、ゾーンチェアパーソン



千歳中央ライオンズクラブ

L服部 賢二

「ライオンズ活動の現状、問題点と課題について」

私はライオンズクラブ入会5年目の、活動等まだ分からない事が沢山ある新米ライオンです。

今期は幹事職を任されています、毎回失敗の連続でクラブメンバーに申し訳ありません。

しかし、先輩ライオンは暖かく見守ってくれています、有難うございます。

本題の（活動の現状、問題点と課題）ですが当クラブのメイン事業として、サケの交流事業（サケの受精卵を岡山西大寺と千歳の子供たちに孵化させていただき、再び千歳川に放流）は岡山県西大寺と、千歳の子供たちに小さな稚魚の（命の大きさ）を学ばせ、又周りの大勢の人達をも感動させてくれます。

16年間継続の大イベントです。

あと、年2回の献血事業、これも毎年3月、10月と寒さの厳しい中、大勢の皆様が協力があり年々献血量が増えています、昨年3月11日の

大震災の影響もあると思いますが、日本の文化、思いやり、優しさを感じます。

問題点として、小さなことは沢山ありますが、素晴らしいライオンズ活動の陰に隠れほとんど目につきません、問題の無いクラブは無いと思います、問題点に気が付いていれば問題は無いのでは？と思います。

最後に、お金や物での奉仕活動より、多くの人の心を動かす、人間らしい奉仕活動を目標にライオンズメンバーとして活動を続けます。

主なライオン歴

- 2011年、クラブ幹事、第2副会長



ゾーン・チェアパーソン座談会

—ライオンズ活動の現状と将来展望—

司会 本日はお集まりいただきまして有難うございます。エコ誌

500号記念増刊号を発行することになりました、その紙面をかざるべく、大いに語っていただきたいと思えます。テーマは「ライオンズ活動の現状と将来展望」です。

本題に入る前に、皆様ゾーン・チェアパーソンとしての任期がもうすぐ終わりますので、この一年

間をふり返つての感慨をお聞かせください。

高濱 昨年五月位から活動を開始したわけですが、一年間は長かったという感じですが。一年間だから頑張れたというのが実感です。

ゾーン内のクラブを出来るだけ回ろうと心掛けてまいりました。回つてみて、各クラブそれぞれ個性のなかが印象的でした。例会での「国歌」や「また逢う日まで」の斉唱なども歌うクラブ、歌わないクラブとマチマチでした。

もつと多く回るべきでしたが、自分の仕事もありますし、ライオンズ活動と仕事、その葛藤が常にありました。

武田 各クラブを回つてみて気懸りだったのは、「ライオンズ必携」に書かれていることをあまり理解していない面が見られたことです。例えば、過半数の出席なしに審議事項をすませたり……「ライオンズ必携」を理解することはきわめて重要です。私はスタート時に必携をまる二日間かけて熟読しまし

たよ。

伊部 一年間限りですし、とにかくガバナーの意向に沿うようにと頑張ったつもりです。ガバナーには、ゾーン・チェアパーソン会議等を通じて良く意見を聞いていただきました。

高濱 これだけの数のクラブがあつてまとまれば、ACTにしても、寄付金額等にしても凄いことができるのだと痛感した一年間でもありました。

福本 ゾーン・チェアパーソンをしたお蔭で多くの人との出会いがありました。人と人の繋がりとという意味で本当に意義ある一年でした。私のゾーンではこの二年色々問題もありましたが、それはそれで貴重な体験でした。

司会 メインテーマに入りたいと思います。まず「組織面」について考えてみたいと思います。まず、リジョン・チェアパーソンが二年前からなくなり、その分ゾーン・チェアパーソンの負担が増えていると思

出席者

ゾーン・チェアパーソン(1R2Z)	L高濱	一義
ゾーン・チェアパーソン(2R1Z)	L福本	雅之
ゾーン・チェアパーソン(2R2Z)	L後藤	久雄
ゾーン・チェアパーソン(4R1Z)	L武田	政雄
ゾーン・チェアパーソン(4R2Z)	L伊部	隆幸
司会	L木戸	善幸
キャビネット幹事	L辻岡	公夫
(記録:地区PRライオンズ情報委員長)		



ますが、実際にやってみて如何でしたか。

高濱 個人的には、リジョン・チェアパーソンがいなくても十分やっていけるのではないかと思います。

伊部 私も、ゾーン・チェアパーソンの上にリジョン・チェアパーソンがいて何かよくなるとは思えません。役職が増えれば、人的・金銭的にクラブの負担も増える訳ですし……

後藤 ただ、リジョン・チェアパーソン



ンには、ガバナーの登竜門という位置付けもあつたと思います。またなりたい人もいたかと思えます。いずれにしても、その時のガバナーがやりやすい組織をつくれればいいと思います。

司会 「組織面」で他にご意見はありませんか。

武田 ライオンズの組織はワニヤの原則で動いていますが、それでもある程度の「継続性」も重要だと思えます。その意味で「ガバナー協議会」(名誉顧問会議)の機能を強化すべきだと思います。

司会 「活動費」についてですが、ゾーン・チェアパーソンの皆様はかなりの持ち出しになっているのではないのでしょうか。また今期から実費精算の形にしたことの感想を伺います。

武田 皆様同様かと思いますが、かなりの持ち出しになっています。当初予算は半期ももちません。ただし、これはゾーン・チェアパーソンを引き受けた時から覚悟していたことですので、やむを得ないことかと。

伊部 支出の透明性を高めることは大変良いことです。今後ますます重要なことだと思います。



L高濱

司会 次にライオンズクラブにとつて永遠のテーマともいえる「会員増強」についてですが、どう取り組むべきでしょうか。

高濱 大変難しい問題ですね。やはり若い人・女性を中心に誘い合う形が必要ですね。その意味では、今年新設した「地区女性・青年会員増強委員会」の機能強化が重要だと思います。

福本 各クラブにおいて女性が入りやすい雰囲気づくりが大事ですね。それから、年会費の引き下げも検討すべきです。

武田 クラブ単位を超えた増強運動も必要だと思います。例えば、転勤者をフォローして新任地のクラブを紹介するとか。

伊部 仕事の絡みだけで入ってくる

場合は長続きしないですね。
武田 退会防止も大切です。その面でも、ゾーン・チェアパーソンは、もつと各クラブの懐に飛び込んで、実情を知つたうえで、雰囲気作り等をアドバイスすべきだと思います。

司会 それでは、アクティビティへの取組み方についてのお考えを伺います。

武田 札幌と地方では大きな違いがあると思います。地方はクラブ間の交流アクトが盛んで、これは大変良いことだと思います。

後藤 クラブ間の交流となると、ガバナーの方針やキャビネットからの方向付によって大きく変わってくると思います。

福本 そういう意味では、今期の植



L福本

樹統一アクトは大変良かったと思います。もつと準備期間があつて、かつ一般市民を巻き込むようなことができれば、凄い事業になる可能性があります。

司会 六年ぶりに復活した「日韓親善青少年交流事業」についての感想は？

後藤 この事業は大成功だったと思います。両国の子供達の尊い経験が将来の人間形成に役立ち、両国が円熟した関係になることを期待しています。

伊部 六年前に参画して、その後消滅して残念に思っていました。また機会があれば、二年か三年に一度、是非やるべきだと思います。
司会 通常のYE事業についてですが、今期から受入家庭に五千円支給することにしました。



L後藤

伊部 大変結構なことだと思えます。YE事業は今後も地区全体として力をいれて取り組んでいきたいですね。

司会 次に「エコ誌」のあり方についてお聞きします。エコ誌は年六回、七百万円ほどかけて発行しております。一部にエコ誌を縮小してホームページで代替してはとの意見があるようですが。
武田 エコ誌は、331-A地区にとつての唯一の貴重な情報源、つながりです。

後藤 私としては逆にもつと分厚く、もつと多くの情報を発信して欲しいと考えています。

伊部 ホームページへの代替という意見が出てくるのは、広告費負担の問題、IT委員会ができて、ホームページが充実してきた、環境問題もあつて世界的にペーパーレスの流れがある、そんな背景からだと思いますが、時期尚早という感じがします。

武田 ライオンズは年齢層が高い。そのことも考えないと。

後藤 私は何年たつても変わらないと思う。ITが進んでも、それと本なり紙ベースが全てなくなることはないと考えています。

武田 ペーパーレスは、極端にいうと、脳を使わずに、目だけで追うことになりかねない。

司会 最後に、今後のライオンズ活動にとつて期待すること、あるいは最も大切だと思うことを一言ずつお願いします。

高濱 キャビネットにとつて最も大事なことは、「公明正大」であること。特に会計面で不明があつてはならない。

武田 先ほども言いましたが、ガバナーをサポートする意味でも「ガバナー協議会」を充実させること。これがなければ、ライオンズの将来は危ういときえ思います。

後藤 私は来期クラブ会長を務めることもありまして、若い人・女性を中心に会員増強とクラブの



L武田



L伊部

活性化へ全力で取り組みたい。

福本 若い人が入らなければ元気でません。これが一番の課題です。それから、自分の会社を守ること、も大事です。このことを胆に銘じつつ、ライオンズ活動に邁進したいものです。

伊部 1福本が言われたように個々の事業(仕事)の繁栄が原点です。そのうえで、ワニイヤードあつてもガバナーを全力で支えることが基本だと思います。

司会 本日は長時間、熱心な議論、本当にありがとうございました。

エコー誌の思い出

エコー誌は本年3月号をもって500号に至りましたが、残念ながら、バックナンバーは揃っておりません。PR・情報委員会が探したところ、やっと手に入ったのが、1974年7月発行の第109号(札幌ライオンズクラブ所蔵)であります。

これをみますと、ちょうど道内が2分割された時期で、道央・道南が一緒でした。白黒、A4判、8ページの構成となっております。その後、時期ははっきりしませんが、B5判となり、現在のA4判となったのは、2000年8月号からということであります。

第109号に記載されている役員名簿を探しますと、当時地区PR情報副委員長で、現在なお現役として活躍されている方を発見しました。札幌ポプライオンズクラブ L比企 泰一郎であります。早速L比企に寄稿をお願いした次第です。

(地区PR・ライオンズ情報委員長 L辻岡公夫)

エコー誌の思い出

札幌ポプライオンズクラブ L比企 泰一郎



エコー誌発刊500号、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

今から38年前、本間キャビネットの時に、PR委員に選出されました。

委員長は札幌クラブのL廣瀬で4名が札幌クラブ、ポプラから私の計5名でPR委員会での業務分担の結果「L比企」は「エコー」をお願いしますと決定、一番むずかしい、ややっこしい仕事を私にと!! 后になって分かりました。

毎週1回PR委員会が商工会議所の隣の山京ビル7階で開催、楽しみは、大和屋の天どん、私はホテル屋なので、天どんは珍しく、しかもおいしかったです。苦しみは原稿が無いことで、毎日原稿用紙とニラメッコ。

原稿が集まらなかったら、どうしよう!! 本間ガバナーは、たった一言「自分で書けばいいんだよ」と!!

私はキャビネット役員を14回任命され全道の主要な地区を廻りましたが全んどがYEの副委員長でしたが、ある年にYEの複合委員長を2年続けました。

「ライオンズクラブでは同じポストを2年続けることは無いですよ」と東京での会議の時指摘されましたが、私は「地区分割です」と説明したら全員納得されました。

ライオンズクラブでは実に多種多様なアクティビティを実施されており大変素晴らしいことと感心しておりますが、ライオンズクラブで最もライオンズクラブらしいアクティビティはYEでは無いかな～と考えております。

昔はアメリカ、カナダが中心で派遣も受入れも少なかったですが、今では世界中の多くの青少年が来日し、日本からも遠く南米や北欧まで派遣されております。夢の多い将来性のある若い人が一人でも多く世界を知る事が、ライオンズクラブは勿論日本の発展にもつながる事業と私は信じております。Lの皆さんYEへの深いご理解と温かい応援をお願いします。

以上

L 比企 泰一郎 略歴 (多彩な経歴のごく一部です)

1926年(大正15年)3月生まれ

1966年10月 札幌ポプライオンズクラブ入会

1979年7月～1980年6月 札幌ポプライオンズクラブ会長

1983年7月～1984年6月 331-A地区第1R第1Z ゾーン・チェアパーソン

1987年7月～1988年6月 331-A地区指導力開発委員長

1990年7月～1992年6月 MD331 YE委員長

2007年7月～2008年6月 331-A地区 地区名誉顧問



伊藤 雅博 氏

今年度地区伊藤情報委員の任命を受けましたが、夢想だとしていたことだけに、その任命に戸惑いを覚えました。

要する事項となります。第1点は情報の効果的活用

しかし一委員のみが範囲を、しきたりによって

必要とされるべき情報と必要とされないものとの

第2点はメンバーの積極的な関与です。2分制によ

その点に関しては、3月2日の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

キャビネットのシンボルマークについて



第1地区が、本年度より第1-C地区になりました。

あとがき

エコー第1号発行について

2分制になって、26人のメンバーが、やっと出来

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で



ご挨拶

ライオンズ国際協会第302第1-C地区

本間 貞雄

この雑誌はライオンズクラブの発展を期している

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

The Lions' Echo



1974 7

LIBERTY INTELLIGENCE OUR NATIONS SAFETY

LIBERTY INTELLIGENCE OUR NATIONS SAFETY

LIBERTY INTELLIGENCE OUR NATIONS SAFETY

LIBERTY INTELLIGENCE OUR NATIONS SAFETY

LIBERTY INTELLIGENCE OUR NATIONS SAFETY



就任に際して

このたびは本区メンバーが誕生し、不信がそのキャ

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

パーとしての責任を遂行したい。」との意向を

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

キャビネット会計

就任に際して

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

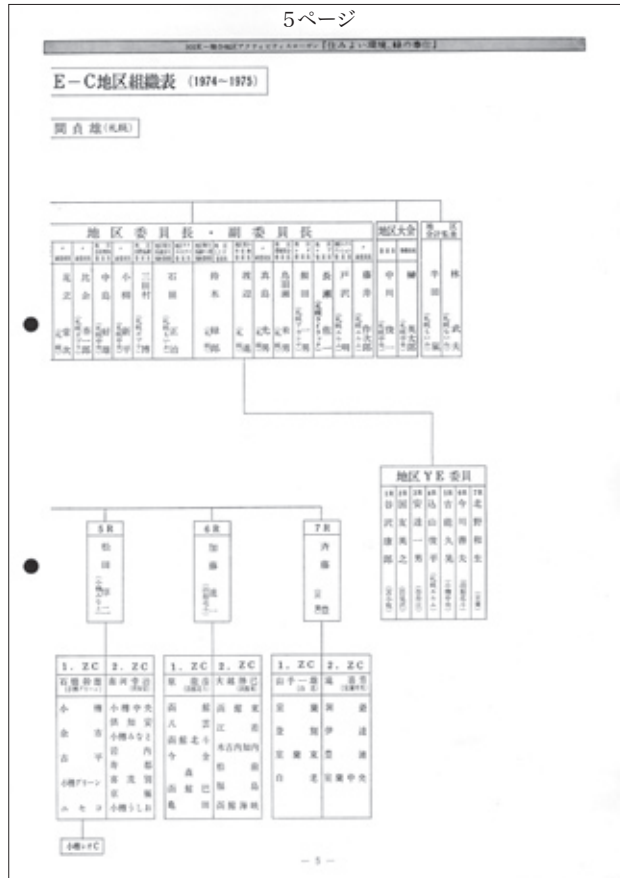
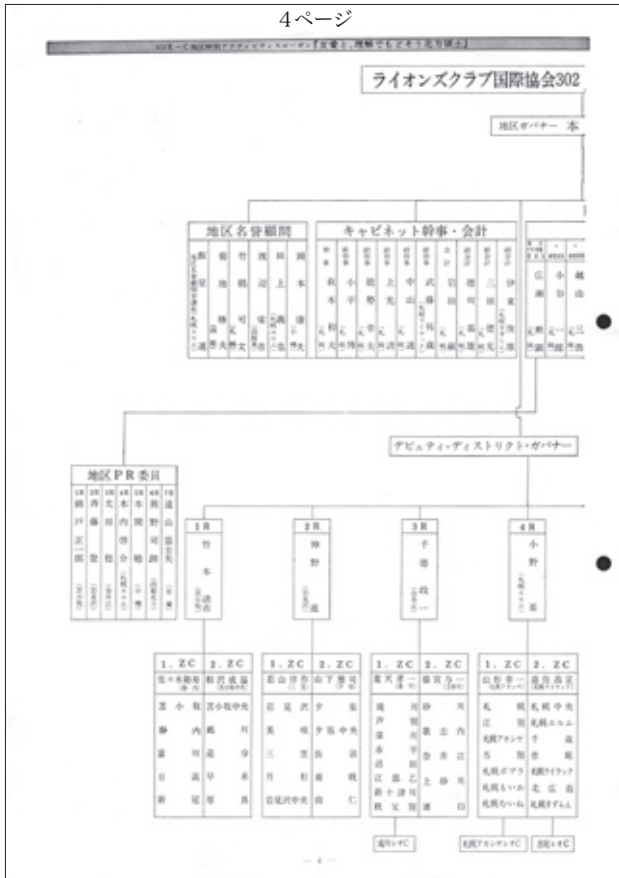
また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で

また、この点については、先月の伊藤委員会議で



302E3地区分別のいきさつ

L 橋本 邦芳 (ライオン)

302E3地区分別は長い活動の時間を経て、昭和40年11月の地区大会において、302E3地区ガバナー(L本岡直義)と302E3地区PR委員(L長瀬直義)の二人のガバナーの提案を見るに及り、これらに対して北海道302E3地区ガバナーの提案をめぐり、さきをおされたのである。いまそのことについてその経過を振り返ることにしよう。

302E3地区分別のいきさつは、昭和40年11月の地区大会において、302E3地区ガバナー(L本岡直義)と302E3地区PR委員(L長瀬直義)の二人のガバナーの提案を見るに及り、これらに対して北海道302E3地区ガバナーの提案をめぐり、さきをおされたのである。いまそのことについてその経過を振り返ることにしよう。

302E3地区分別のいきさつは、昭和40年11月の地区大会において、302E3地区ガバナー(L本岡直義)と302E3地区PR委員(L長瀬直義)の二人のガバナーの提案を見るに及り、これらに対して北海道302E3地区ガバナーの提案をめぐり、さきをおされたのである。いまそのことについてその経過を振り返ることにしよう。

クラブ会報の交換がもたらす効果について

湯山 富士夫

ライオンズクラブで、ライオン誌は、組織の礎の伊集原に大きな役割を果してきた。その重要性は、いかにしても過言されなければならない。しかし、単にクラブ間の情報交換もまた必要である。...

下町ライオンズ

8月2日、正午より理事会の報告後、小樽L.C.合同で、7年間の報告を聴いた。...

自派小樽地区へ人工をばらまくアウティビティ

小樽のL.C. L 平野 幸治

7月11日、小樽市L.C.合同アウティビティとして、自派小樽地区へ、(シム)マン人工をばらまくと題して、人工をばらまく。...

札幌中央卸売市場内 青果仲卸業

株式会社 辻商店

代表取締役 辻 孝彦

札幌市中央区北12条西20丁目2番2号
TEL 011-642-8083 FAX 011-644-9525

新鮮野菜 100%のお店です。

地元、北海道から春先は【山菜】、5月～6月は【アスパラ】、7月～9月は【とうもろこし】【大根】、9月～12月は【男爵】【メークイン】【玉葱】【南瓜】【長芋】など野菜全般において小口は1箱から、大口はトラック輸送からコンテナ輸送まで販売、地方発送ともに各種承ります。



1R1Z 札幌コスミックシニアライオンズクラブ

未来を創造するセキュリティのプロ



HOKKAN 北幹警備保障株式会社

代表取締役会長 秋庭 一富

〒062-0933 札幌市豊平区平岸3条1丁目2-5

ホームページ <http://hokkan-keibi.co.jp> ☎ (011)814-3573

2R1Z 札幌エルムライオンズクラブ

信頼と創意で お客さまのニーズに お応えします！

当グループは「税理士法人 さくら総合会計」を母体として、
税務・会計業務を中心に据え、お客さまの事業経営全般に関する
多方面にわたるサービスをワンストップでご提供しております。

グループ各社が連携することによって生まれる
各専門分野の情報の豊富さと、
それを生かす機動力、対応力が私たちの強みです。

税理士法人 さくら総合会計

各種税務相談、決算、税務申告、税務調査立会、経営計画立案作成、公益・社会福祉法人
に対する監査・経営指導、地方自治体に対する公会計導入支援コンサルティング・監査

代表社員 庵原 宏章 (地区ガバナー)
代表社員 西久保 勝郎 (新潟事務所所長)

〒060-0054 札幌市中央区南4条東4丁目2番地1 さくら総合会計ビル
総合受付 TEL (011) 271-1417 / FAX (011) 221-5948

グループ会社・取扱業務 ご案内

税理士法人さくら総合会計／株式会社さくら総合M&Aセンター／労働保険事務組合道央労務管理協会／
庵原宏章行政書士事務所／株式会社パワーコンサル／有限会社札幌ビジネスエージェント／株式会社エス
エムシー／清平秀幸公認会計士事務所／道央情報サービス協同組合／エス・バイ・エス事業協同組合

税務会計支援(個人・法人・医療法人・公益法人・社会福祉法人)／労務顧問・労務行政／事務組合運営／M
& A関連／生命・損害保険代理店業務／各種代行／登記関連／OAシステム／共同購買・ETC関連／他